

あいち山村振興ビジョン 2025

～ 「暮らし」・「ひと」・「しごと」を未来へつなぐ ～

年次レポート（2024 年度版）

＼ 愛に行こう！



あいちの山里 & 離島

2024 年 9 月



目 次

第 1 章 年次レポートの趣旨

- 1. 年次レポートの趣旨…………… 1
- 2. あいち山村振興ビジョン 2025 が目指す三河山間地域のイメージ…………… 1
- 3. あいち山村振興ビジョン 2025 の対象地域…………… 2

第 2 章 2023 年度の主な取組状況

- 柱 1 安全安心で持続可能な地域社会づくり…………… 3
- 柱 2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成……………18
- 柱 3 なりわいを育てる……………25
- 柱 4 地域資源のさらなる磨き上げ……………36
- 柱 5 新たなライフスタイルへの対応……………47
- 地域別の取組状況……………50

第 3 章 参考資料……………60

第1章 年次レポートの趣旨

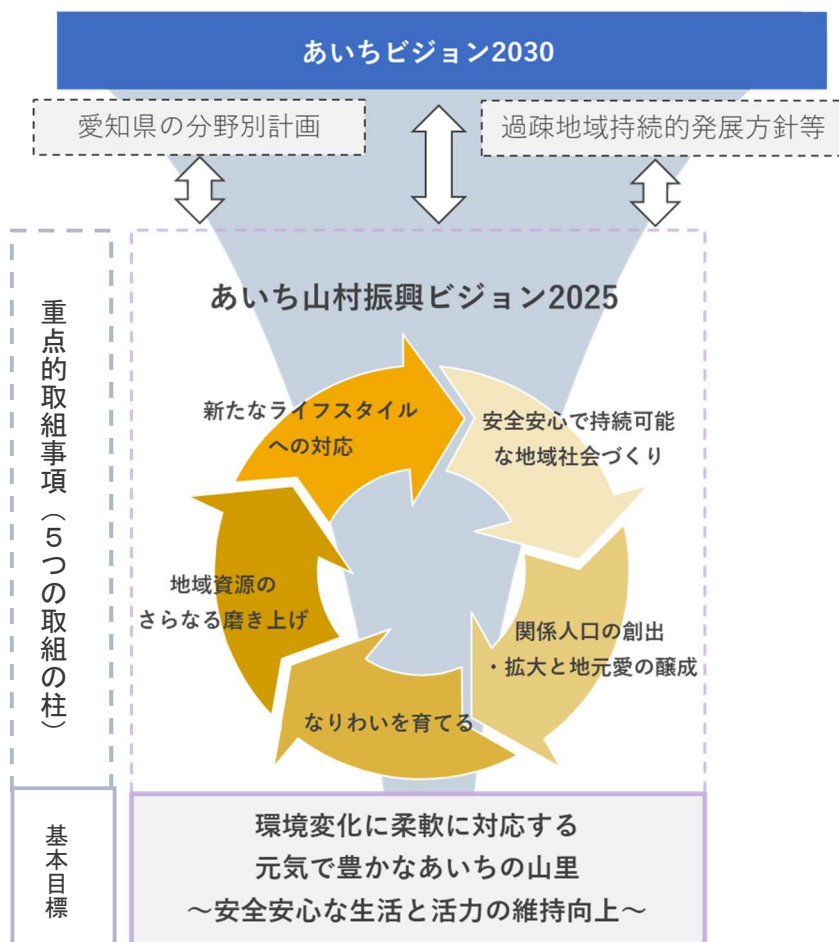
1. 年次レポートの趣旨

リニア中央新幹線や設楽ダム、リモートワーク等働き方の変化による新しい人の動きなど、三河山間地域を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、将来にわたり安全・安心に暮らし続けることができる三河山間地域をつくるため、2020年12月に「あいち山村振興ビジョン2025」を策定し、基本目標「環境変化に柔軟に対応する元気で豊かなあいちの山里～安全安心な生活と活力の維持向上～」の実現に向け、5つの取組の柱（重点的取組事項）に基づき各種施策に取り組むこととしています。

このビジョンの的確な推進を図るため、毎年度年次レポートを作成し、ビジョンに示されている施策の進捗状況を把握し、ビジョンの更なる充実を図っていくこととしています。

こうした趣旨を踏まえ、本ビジョンに基づく2023年度の取組をまとめた年次レポートとして、「あいち山村振興ビジョン2025年次レポート（2024年度版）」を作成しました。

2. あいち山村振興ビジョン2025が目指す三河山間地域のイメージ



3. あいち山村振興ビジョン 2025 の対象地域



● 三河山間地域の人口及び面積

市町村名	人口（人）		面積（km ² ）
	2015 年	2020 年	
岡崎市（一部）	8,109	7,531	160.27
豊田市（一部）	40,249	37,842	628.36
新城市	47,133	44,355	499.23
設楽町	5,074	4,437	273.94
東栄町	3,446	2,942	123.38
豊根村	1,135	1,017	155.88
三河山間地域全体	105,146	98,124	1,841.06
愛知県全体	7,483,128	7,542,415	5,173.07

三河山間地域割合	1.41%	1.30%	35.59%
----------	-------	-------	--------

出典：総務省「国勢調査」

第2章 2023年度の主な取組状況

柱1 安全安心で持続可能な地域社会づくり

- ・生活に欠かせない道路網の整備・バス路線の確保を始め、情報通信基盤の拡充、森林・農地等の保全・整備、保健医療福祉サービスなどの生活基盤の維持・拡充を行います。
- ・また、新型コロナウイルスを始めとした感染症や南海トラフ地震、気候変動の影響により大型化した台風、大雨等の影響による災害への対応の充実を図ります。
- ・そのため、それぞれの市町村（地域）だけでなく、広域的に取り組むことで、将来にわたって安全安心に暮らせる地域社会を目指します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2023年度）※1	目標値（2025年度）※2
公共交通の主な改善件数（累計）	【達成】17件	10件
道路供用延長（累計）	2.7km	20.7km
森林の保全整備面積	2,201ha	4,000ha
農地の保全整備面積	887ha	900ha
三河山間地域の人口	95,314人※3	95,105人

※1 指標名に（累計）とあるものは、2021～2023年度の累計（以下同じ。）

※2 指標名に（累計）とあるものは、2021～2025年度の累計（以下同じ。）

※3 三河山間地域の人口（2023年度実績値）は「あいちの人口（年報）」（愛知県）、「岡崎市の人口」（岡崎市）、「豊田市の人口」（豊田市）より地域振興室で集計

（2023年度の主な取組）

◆新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症への備え

<医療提供体制の強化に係る取組>

- ・新型コロナウイルス感染症に係る検査機器の整備として、**医療機関・検査機関におけるPCR検査機器の整備に対する支援**を行ったほか、県衛生研究所で実施する新型コロナウイルス感染症に係る検査に必要な体制を維持しました。

（整備に対する補助：5類移行に伴い、2023年5月7日を以って終了）

【保健医療局感染症対策課】

- ・医療機関の**医療従事者の処遇改善のための応援金**や、退院基準を満たした患者の転院を受け入れた**医療機関に対しての応援金**を交付しました。（2023年5月7日を以て終了）

【保健医療局医務課】

- ・新型コロナウイルス感染症を疑われる方が速やかに検査及び適切な医療を受けられるように、**診療・検査医療機関**（2023年5月8日より外来対応医療機関に呼称変更）における**設備整備や個人防護具の購入に対する支援**を行いました。

補助件数：833 機関

うち三河山間地域 74 機関（岡崎市 31 機関、豊田市 36 機関、新城市 7 機関）

【保健医療局感染症対策課】

- ・新たな感染症の発生及びまん延に備えるため、病床、外来医療及び医療人材並びに感染症対策物資の確保の強化、情報基盤の整備等の措置を講ずるため、**県内の医療機関等と、医療措置協定の締結に関する取組を開始**しました。

【保健医療局感染症対策課】

＜福祉施設における取組＞

- ・障害福祉サービス施設・事業所等において、新型コロナウイルス感染症発生時の**サービス継続に係る支援**を行いました。（2024年3月31日を以て終了）

【福祉局障害福祉課】

- ・高齢者施設における感染症拡大防止対策の支援や、新型コロナウイルス感染症への対応において、通常の介護サービスの提供では想定されないかかり増し費用を補助する**介護サービス確保対策事業費補助金**を交付した（2023年度発生分まで補助）ほか、高齢者施設等に対する**スクリーニング検査事業**を行いました（2024年3月31日を以て終了）。

【福祉局高齢福祉課】

- ・児童養護施設等における消毒液・マスクなど**衛生用品の確保**（2024年3月31日を以て終了）や、**児童福祉施設における感染症拡大防止策への支援**を実施しました。（保育所等施設消毒支援事業は2024年3月31日を以て終了、感染症対策のための改修整備等事業は現在も実施）

【福祉局児童家庭課、子育て支援課】

＜県民の一人一人が感染症の予防及び蔓延防止に取り組む社会づくり＞

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめ、県内における感染症の発生状況を**ホームページ**で公表したほか、季節性インフルエンザについて、県内の感染状況をもとに**インフルエンザ警報を発令**しました。

【保健医療局感染症対策課】

- ・県ホームページに**愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト**を設置し、換気や手洗い、手指消毒、マスクの効果的な場面での着用等の基本的な感染防止対策を周知しました。

【保健医療局感染症対策課】

＜関係機関や諸団体と緊密に連携・協力した平時からの体制づくり＞

- ・新たな感染症の発生及びまん延に備えるため、病床、外来医療及び医療人材並びに感染症対策物資の確保の強化、情報基盤の整備等の措置を講ずるため、**県内の医療機関等と、医療措置協定の締結に関する取組を開始しました。**

【保健医療局感染症対策課】（再掲）

- ・新型コロナワクチン接種後の**副反応**を疑う症状について、総合的な診療ができる体制を有する専門的な医療機関に協力依頼を行い、**窓口を設置し運営しました。**

設置件数：9 医療機関（全県分）

【保健医療局感染症対策課】

- ・BCPセミナーや県政お届け講座の開催等によるBCPの普及・啓発活動を実施しました。（感染発生段階ごとの対応方針検討の考え方や職場別の感染症予防策を掲載した「**新型コロナウイルス感染症対策あいちBCPモデル**」の内容も含む）。

セミナー等 計6回開催

【経済産業局中小企業金融課】

◆持続可能な行財政基盤の確立

- ・三河山間地域の市町村へ、市町村行政に対する支援の一つとして、**県職員を派遣**しました。

派遣先市町村：岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村

【総務局市町村課】

- ・山間市町村の**社会資本整備等**に対し、**山間市町村振興資金貸付金**を貸付けました。

貸付実施市町村：

新城市 小規模林道事業(舗装)林道長久保線

設楽町 公営企業移行事業・簡易水道等

豊根村 地方公営企業法適用事業

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域の実情にあった公共交通の維持・確保への支援

＜ＪＲ東海に対する働きかけの実施＞

- ・ＪＲ東海に対し、ＩＣカード乗車券の未導入区間の早期解消に努めること、北設楽地域の玄関口である東栄駅への特急列車の停車を実施すること、サイクルトレインの実施等各種イベントを通じた魅力ある沿線の地域づくりへ協力することについて要望しました。（2024年1月23日）

※ＩＣカード乗車券新規導入区間：豊川－本長篠（2025年春予定）

【都市・交通局交通対策課】

＜バス路線の維持・確保のための取組＞

- ・国とともに山間地域のバス車両購入に係る減価償却に関する補助や、乗合バス路線の運行を維持するための支援を行いました。

路線維持費補助件数：6系統

車両減価償却費等補助件数：17両

【都市・交通局交通対策課】

- ・三河山間地域における交通基盤の確保・維持を図るため、路線バス等を運行する市町村に対して、その運行に要する経費の一部を支援しました。（過疎バス路線維持費補助金）

補助路線数：32路線2地域

【総務局市町村課地域振興室】

◆社会資本整備等に対する支援

＜県立学校施設の大規模改造や長寿命化改修＞

- ・県立学校施設長寿命化計画に基づき、田口高校の長寿命化改修工事、大規模改造設計及びトイレ環境改善工事並びに新城有教館高校の大規模改造設計を行いました。（県立学校施設長寿命化推進事業）

1 田口高校

- ① 長寿命化改修（築60年経過）工事：第2棟西 1棟
- ② 大規模改造（築30年経過）設計：鴨山演習林森林土木実習室 1棟
- ③ トイレ環境改善工事：第3棟西、本館 2棟6か所

2 新城有教館高校

- ① 大規模改造（築30年経過）設計：園芸実習室 1棟

【教育委員会財務施設課】

- ・三河山間地域の簡易水道施設整備に対し、補助を行いました。

設楽町、東栄町及び豊根村の3事業に対し補助金を交付

【保健医療局生活衛生課】

◆5Gへの対応を含む情報通信基盤の拡充・活用

＜公衆無線LAN環境の充実に向けた取組の支援＞

- ・無料公衆無線LAN推進協議会の活動として、無料公衆無線LANの整備状況調査を実施し、今後の施策の参考となるよう市町村に調査結果を共有しました。

【総務局情報政策課】

＜5Gなどの導入や情報通信基盤設備の更新に係る国への要望等＞

- ・情報通信基盤について、公設公営方式で整備・運営している北設楽郡3町村に対し、民間事業者への事業譲渡の検討が円滑に進むよう支援を実施しました。

民間への事業譲渡の検討に当たっては、北設広域事務組合を中心に設置された検討会に本県も構成員として参画し、組合による民間事業者に対するヒアリングなどに参画して助言を行うほか、国の補助金や交付金などの支援制度に関する情報提供などを行いました。

- ・また、5Gを含む情報通信基盤の整備について、これまで行ってきた全国知事会を通じた要望に加え、県としても国への要請を行ったほか、総務省の情報通信審議会の通信政策特別委員会において、北設情報ネットワークの課題について説明するとともに、一層の支援を訴えるなどの取組も行いました。

【総務局情報政策課】

◆大規模災害への備え

＜道路の整備、山地災害対策、農業水利施設の耐震対策や豪雨対策等＞

- ・災害時の緊急活動や物資輸送などを支える緊急輸送道路を中心に、道路の用地買収や工事を推進しました。

【建設局道路建設課】

- ・土砂災害対策として、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設、地すべり対策施設等の整備を実施するとともに、土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施しました。

施設等の整備：土砂災害危険箇所6箇所（豊田市、新城市）

【建設局砂防課】

- ・山地災害対策のため、治山ダムや土留工などの**治山事業**を計画的に実施しました。
山村地域の防災・減災対策面積：401ha

【農林基盤局森林保全課】

- ・**農業用ため池**の決壊による災害を未然に防止するため、**耐震整備等**を行いました。
地区数：3地区（豊田市、新城市）

【農林基盤局農地整備課】

- ・あいち・なごや強靱化共創センターの行政人材育成研修において、**避難情報の判断・伝達に関する知識を深めるための研修を実施**しました。（2023年6月6日（水害編））

【防災安全局災害対策課】

- ・市町村が実施する**消防団活動支援事業**について、南海トラフ地震等対策事業費補助金として**財政支援を実施**しました。

対象市町村合計 79,000千円（岡崎市、豊田市、新城市、東栄町を含む33市町）

【防災安全局消防保安課】

- ・**防災ヘリコプター**について、名古屋市への運航委託により、**2機種3機体制での運用**を実施しました。

防災ヘリコプター「わかしやち」の運航実績：緊急運航 42件（県外含む）

【防災安全局消防保安課】

<土地利用の適正な規制>

- ・市町村の土地利用計画の立案にあたって、災害リスクや防災対策の状況を総合的に勘案し、防災上望ましくない区域を除外するよう助言・指導を行い、**土地利用の適正な規制**を実施しました。

【都市・交通局都市計画課】

<地籍調査の実施等>

- ・大規模災害後の迅速な復旧・復興等に備え、市町村に対して、トップセールス等を活用して**地籍調査を推進**しました。また、**リモートセンシングデータ**などの先進的技術を活用し、地域の特性に応じた効率的な調査手法を導入するように市町村に促しました。

※リモートセンシングとは、対象物に触れることなく、離れたところから物体の形状や性質などを観測する技術のこと。

【都市・交通局都市計画課】

＜住民の方の防災意識の向上、基礎的な消防施設の整備に対する支援＞

- ・自主防災活動の活性化を図るため、**自主防災組織リーダー研修会**を実施しました。
また、防災意識の高揚に積極的に取り組んでいる**団体を表彰**することで、地域防災力の向上を図りました。

自主防災組織リーダー研修会

2023 年 6 月 26 日・7 月 1 日、7 月 8 日

場所：名古屋大学・豊田市福祉センター、愛知県防災教育センター

受講者数：33 名

愛知県防災貢献団体表彰：5 団体

【防災安全局防災危機管理課】

- ・消防団を対象として、小型動力ポンプ付積載車及び多機能型ポンプ自動車といった**消防活動に必要な資器材等の整備に係る財政支援**を実施しました。

【防災安全局消防保安課】

◆広域交通基盤の整備・強化

＜広域道路ネットワークの強化に資する道路整備の推進＞

- ・**国道 151 号**（新城市：バイパス整備）、**257 号**（設楽町：バイパス整備）、**301 号**（豊田市：バイパス整備、岡崎市：現道拡幅）、**420 号**（設楽町：拡幅工事、バイパス整備）、**473 号**（豊田市：拡幅工事、設楽町、東栄町：バイパス整備）をはじめとする**国道の整備を推進**しました。

【建設局道路建設課】

- ・**主要地方道長篠東栄線**（新城市：バイパス整備）、**豊橋乗本線**（新城市：バイパス整備）、**阿南東栄線**（豊根村：線形改良等）、**東栄稲武線**（設楽町：線形改良等）をはじめとする**県道の整備を推進**しました。

【建設局道路建設課】

＜三遠南信自動車道の整備＞

- ・国土交通省及び財務省などに対して、**三遠南信道路建設促進期成同盟会**（愛知県は副会長）が**整備促進に係る要望活動**を行いました。

（2023 年 7 月 6 日、11 月 22 日）

【建設局道路建設課】

＜市町村道の県代行制度による整備＞

- ・住民の生活道路であり、三河山間地域内において基幹道路に指定されている道路について、4市町村5路線で県代行制度による整備を行いました。

整備路線名：

- ・市道大島線（新城市）
- ・町道上原荒尾線（設楽町）
- ・町道豊邦作手線（設楽町）
- ・町道本郷下川農免線（東栄町）
- ・村道猪見谷下黒川線（豊根村）

【建設局道路維持課】

- ・山村地域の基幹的な農道の整備・保全を行いました。

整備路線名：

- ・広域農道奥三河線（設楽町）

【農林基盤局農地整備課】

◆森林・農地等の保全・整備

＜森林や農地の多面的機能の維持・向上のための取組＞

- ・造林事業や治山事業、あいち森と緑づくり事業による間伐等の森林整備を計画的に実施しました。

造林事業 406ha

（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 365ha）

治山事業 97ha

（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町 68ha）

あいち森と緑づくり事業 960ha

（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 889ha）

間伐実施面積 2,216ha

（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 2,046ha）

【農林基盤局森林保全課、森林保全課森と緑づくり推進室】

- ・森林経営管理サポートセンターや県・市町村連絡調整会議を活用し、森林経営管理制度の円滑な実施に対する市町村の取組等を支援したほか、**市町村職員や林業従事者に対し研修**を実施しました。

※あいち森林経営管理サポートセンターは、公益財団法人愛知県林業振興基金に委託し、森林経営管理制度について市町村からの相談等に対する助言や情報収集を行う窓口。

林業従事者向け研修の実施（48 日、399 名）

市町村職員向け森林・林業基礎研修等の実施（10 日、181 名）

市町村職員向け木材利用研修の実施（3 回、80 名）

【農林基盤局林務課、林務課あいちの木活用推進室】

- ・用水路や排水路などの**農業生産基盤の整備**を行う三河山間 5 市町村含む 8 市町村等に対し、**山村振興営農環境整備事業費補助金**による支援を行いました。

三河山間地域への補助金額：69,000 千円

【農林基盤局農地整備課】

- ・林道事業による**林道の開設、改良、舗装**を実施したほか、造林事業による**森林作業道を整備**しました。

林道の整備・保全延長累計 50.7km（2023 年度 15.8km）

【農林基盤局森林保全課、森林保全課森と緑づくり推進室】

＜農業施設の整備・更新や長寿命化の推進＞

- ・農業農村多面的機能支払事業により、農業水利施設、農道等の補修や更新等を行う長寿命化活動への支援を実施しました。

実績：887ha（豊田市、新城市、設楽町、東栄町）

【農林基盤局農地計画課】

- ・農業用用水路や排水路などの**農業生産基盤の整備**を実施しました。

地区数：8 地区（豊田市、新城市、設楽町）

【農林基盤局農地整備課】

＜河川漁場が有する多面的機能の維持に関する取組＞

- ・内水面漁場の多面的機能発揮に資するため、漁業者や地域住民で構成される活動組織が実施する**河川清掃等の活動**を支援しました。

6 活動組織（豊田市、新城市、設楽町、豊根村）

【農業水産局水産課】

- ・地元河川がもたらす豊かな恵みに関する理解促進を図るため、健全なアユ種苗の生産を行うとともに、小学生等を対象に、アユの体験放流・学習会を行いました。

あゆ種苗生産実績：120 万尾

体験放流・学習会：計 7 回、参加者 182 人

【農業水産局水産課】

◆鳥獣害対策の推進

<鳥獣害対策に係る施設の整備や捕獲活動に対する支援>

- ・植栽木をシカやウサギ等の食害から保護する獣害防止柵等の設置に対し、支援等を行いました。

支援件数：17 件（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村）

【農林基盤局林務課あいちの木活用推進室】

- ・市町村が行う総合的・計画的な鳥獣害対策に支援を行いました（鳥獣被害防止総合対策事業・山村地域鳥獣被害防止対策事業）。

1 鳥獣被害防止総合対策事業

実績：232,537 千円（うち三河山間地域：183,408 千円）

2 山村地域鳥獣被害防止対策事業

実績：5,244 千円

【農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室】

- ・指定管理鳥獣捕獲等事業の実施や狩猟期間の延長など、第二種特定鳥獣管理計画を推進することで、鳥獣の適切な個体群管理の実施等を行いました。

【環境局自然環境課・農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室】

<捕獲の担い手確保に係る取組>

- ・狩猟免許試験、狩猟免許更新検査を三河地域でも開催するとともに、狩猟者の育成及び確保についてのセミナーを開催しました。

狩猟免許試験 刈谷市 （2 回）

狩猟免許更新検査 豊橋市等 （3 回）

セミナー 豊田市 （2 回）

【免許試験、免許更新検査：環境局自然環境課、

セミナー：環境局自然環境課・農業水産局農業振興課】

＜ヤマビル被害防止への取組＞

- ・林業普及指導員によるヤマビル被害防止対策の実践・普及啓発を実施したほか、自治体・森林組合に対し、ヤマビル被害防止に係る物品購入の支援制度の周知を行いました。

【農林基盤局林務課】

◆子育て支援の充実や教育環境の整備

＜市町村の教育活動への支援＞

- ・「ふるさと出会いの創造」推進事業として、「学びの場」「交流の場」「体験の場」を設定し、地域や県内の教育資源（人・もの・こと）と出会い、共に学習したり、活動したりする取組を支援しました。（へき地教育振興費補助金）

2023 年度補助市町村：岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村

【教育委員会義務教育課】

＜連携型中高一貫教育＞

- ・田口高校、新城有教館高校作手校舎と設楽中学校、津具中学校、東栄中学校、豊根中学校及び作手中学校との間で、故郷への愛情と誇りを育むふるさと交流活動（お仕事フェア、芸術展覧会交流）等を行いました（三河山間地域連携教育推進事業）。

【教育委員会義務教育課】

- ・東三河地域での若年層の定着を図るため、地域の産業特性を踏まえた生徒間交流、教員の校種間交流の促進など東三河小中高特連携教育推進事業を実施しました。

【教育委員会義務教育課】

＜G I G Aスクール構想の更なる加速・強化＞

- ・COREハイスクール・ネットワーク構想事業により、三河山間地域にあたる足助高校、加茂丘高校、田口高校、新城有教館高校作手校舎において遠隔授業を実施しました。
- ・また、全ての県立学校を対象にモバイルルーターを配備し、県立学校におけるインターネット環境の改善を実施しました。

【教育委員会高等学校教育課、ICT教育推進課】

- ・地域に根ざした地域固有の特色ある教育環境を充実するため、新任者研修、新任校長研修、特別支援学級初心者研修等の教員の研修を**東三河地域で開催**しました。

【教育委員会義務教育課】

- ・子育て応援の日（はぐみんデー）普及推進強化月間における「**はぐみんデー**」普及のためのイベント開催や、街頭啓発活動の実施、「はぐみんカード」の普及拡大のため「**あいちはぐみんネット**」等を活用した情報発信など広報活動を実施しました。

【福祉局子育て支援課】

- ・子ども・子育て支援新制度に基づき、**小規模保育等への地域型保育給付**を実施したほか、**放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、一時預かり事業等の取組への助成**を行いました。

放課後児童クラブへの助成実績

※ 放課後児童クラブは、共働き家庭などの児童（小学生）に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。

放課後児童クラブ運営費補助箇所：1,618 か所

（うち岡崎市：81 か所、豊田市：110 か所、新城市：18 か所、東栄町：1 か所）

放課後児童クラブ設置促進事業費補助箇所：11 か所

（うち岡崎市：1 か所）

放課後児童クラブ整備費補助箇所：4 か所

【福祉局子育て支援課】

- ・ひとり親家庭や寡婦の方の自立支援として、**母子・父子自立支援員による相談支援**を実施したほか、**母子家庭等就業支援センター事業における就業支援の実施、児童扶養手当、愛知県遺児手当を支給**しました。

【福祉局児童家庭課】

- ・第3子以降の満3歳児の**保育料を無料化又は軽減する市町村への補助**や、**私立幼稚園の第三子以降の満3歳児の授業料等の無償化**を行うことにより、育児と就労の両立支援を図りました。

【保育料：福祉局子育て支援課

私立幼稚園：県民文化局学事振興課】

◆住民の生活を支える質の高い医療等を受けられる体制の確保

＜へき地医療施設の整備、医師等医療従事者の確保＞

- ・へき地における医療施設を整備するため、へき地診療所や、へき地医療拠点病院設備の整備にかかる費用の補助を行いました。

へき地診療所設備整備補助	東栄診療所	1,958,000 円
	乙ヶ林診療所	1,925,000 円
	作手診療所	4,015,000 円
	額田宮崎診療所	260,000 円
	額田北部診療所	3,725,000 円
へき地医療拠点病院設備整備補助	足助病院	32,389,000 円

【保健医療局医務課地域医療支援室】

- ・へき地の医療確保を目的に、へき地医療拠点病院がへき地診療所に行く医師派遣等の調整支援や経費を支援しました。

調整支援件数：114 件（100%）

へき地医療拠点病院への助成金額

- ・足助病院 1,144,000 円
- ・知多厚生病院 180,000 円
- ・新城市民病院 2,581,000 円
- ・豊川市民病院 43,000 円
- ・豊橋市民病院 186,000 円
- ・岡崎市民病院 2,864,000 円

※ 病院自体は山村振興法適用地域に無くとも、法適用地域に所在するへき地診療所への支援を各拠点病院が行っており、それに対しての助成を行っている。

【保健医療局医務課地域医療支援室】

- ・将来、県内のへき地における看護師等の業務に従事しようとする方に対し、へき地医療確保看護修学資金を貸与しました。

貸与人数：1 名

【保健医療局医務課】

＜緊急医療等の取組＞

- ・小児の二次救急医療体制の確保や、ドクターヘリの2機目の配備及び運航に対する財政支援を行ったほか、救急医療情報システムの運営を行いました。

【保健医療局医務課】

＜へき地診療所の運営への支援＞

- ・へき地の診療所の運営に対し、補助を行いました。

乙ヶ林診療所 1,255,000 円

つぐ診療所 12,475,000 円

【保健医療局医務課地域医療支援室】

＜健康づくり、介護サービス基盤の充実＞

- ・保健所・市町村栄養士等の合同研修会や、栄養改善連絡会議、へき地保健栄養指導を実施したほか、歯科口腔保健推進研修事業を実施しました。

研修：5回、会議：3回、相談、指導：5回

【保健医療局健康対策課】

- ・介護分野においては、利用者の負担額を軽減させるため特別地域加算に係る利用者負担額軽減措置事業を実施したほか特別養護老人ホームを始めとした施設サービスの計画的な整備支援を実施するとともに、介護従事者向けのメンタルヘルス研修を三河山間地域においても実施しました。

【福祉局高齢福祉課】

＜グループホーム等の整備及び世話人等の確保＞

- ・グループホームの整備のため、社会福祉施設等施設整備費補助金を実施したほか、グループホームの世話人の確保のためのキャラバンや体験事業を実施しました。

施設整備費補助金 ： 3 件

キャラバン（セミナー）：開催回数 28 回

参加者数 39 人、採用者数 11 人

体験事業（仕事の体験）：参加者数 11 人

【福祉局障害福祉課】

◆女性の活躍促進

＜企業の取組支援や企業経営者等の意識改革を図る取組＞

- ・企業における**女性の活躍促進**のために、企業に**女性の活躍促進宣言**の提出を促したほか、「**あいち女性輝きカンパニー**」の認証、**女性の活躍コーディネーター**の派遣を通じた取組支援、**あいち女性の活躍促進サミット**を開催しました。また、中小企業等に対しては、**女性の活躍プロモーションリーダー**と連携し女性の活躍に係る取組を促しました。また、パンフレットの作成、配布や、「**あいち女性の活躍促進応援サイト**」を通じて**女性の活躍企業の魅力**を発信するとともに、キャリアプラン早期育成による**進路・職業選択の支援**、**中小企業における女性活躍の推進**、**女子大学生への女性活躍推進企業のPR**を実施しました。

【県民文化局男女共同参画推進課】

- ・女性起業家育成・促進プログラム「**ヒトハナ**」の実施により、**女性起業家の事業の本格的拡大の支援**や、**女性の起業を支援するセミナー等**の開催、**県内の女性起業家・支援機関等のコミュニティ形成**の促進を図りました。

事業の本格的拡大支援：参加者 10 名、9～3 月実施

起業支援セミナー：4 回、ワークショップ：3 回

コミュニティ形成の促進：コミュニティ形成イベント 2 回

【経済産業局産業政策課】

- ・あいち人権センターにおいて、「**女性の人権**」をテーマとした企画展及び講演会を実施しました。

【県民文化局人権推進課】

柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

- ・ 高齢化による地域の担い手不足が進む中で、首都圏等都市部在住者の地方への関心が高まっている状況を活かし、都市部在住者の移住や関係人口の創出・拡大により、都市との絆を深めます。
- ・ 地域に根差した教育環境を整備することで、将来的な地域の担い手を育成します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2023 年度）	目標値（2025 年度）
外部人材の交流支援数（累計）	【達成】 19 件	15 件
移住者数（累計）	670 人	1,000 人
移住相談者数	294 件	500 件
地域協働を行う県立高校数	2 校	2 校

（2023 年度の主な取組）

◆外部人材を受け入れることができる地域づくり

<愛知県交流居住センターを通じた取組>

- ・ 愛知県交流居住センターを通じて、外部人材を求める地域の事業者と地域外にいる兼業・副業・プロボノ人材とのマッチング支援を行いました。

※愛知県交流居住センターは、愛知県、三河山間地域 6 市町村等が会員となり、同地域における交流居住及び移住定住を支援する組織。

※プロボノは、社会人が仕事を通して培った専門知識や技能を生かし、参加する社会貢献活動。

兼業・副業・プロボノ人材のマッチング支援件数： 2 件

【総務局市町村課地域振興室】

<集落支援の取組>

- ・ 三河山間地域における移住や起業、集落支援等の企画・運営を行う拠点として、**三河の山里サポートデスクを新城市湯谷温泉地区（カフェ&ゲストハウスHooHoo！ 内）に設置・運営**しました。

新規起業者： 7 名

集落支援

新城市黄柳野地区(草刈り、さつまいも収穫体験等)：年 10 回、参加者 29 名

【総務局市町村課地域振興室】

- ・げんき商店街推進事業費補助金により、市町村や商店街組合等が行う商店街活性化に向けた取組支援を実施しました。

三河山間地域における補助実績

補助市町村：岡崎市（旧額田町）、豊田市（旧足助町、稲武町、下山村等）、設楽町、東栄町

補助金額：85,752 千円（事業数：8）

【経済産業局商業流通課】

◆首都圏等での移住相談窓口機能の設置

＜山間地域のPRに係る取組＞

- ・三河の山里サポートデスクを設置し、WEBサイトやSNSを活用して移住、定住、起業、就業等の情報を提供しました。

起業等に関する相談・問い合わせ：31 件

【総務局市町村課地域振興室】

- ・「あいちの山里時間」WEBサイトを開設し情報発信を行うとともに、各種SNSにも「あいちの山里時間」のページを開設し、インフルエンサーによる情報発信を行ったほか、全国的に有名な雑誌に「あいちの山里時間」を掲載することで、情報発信を行いました。

S N S：Facebook、Instagram、X（旧 Twitter）

掲載雑誌：たのやく、地球の歩き方 愛知、東京人

【総務局市町村課地域振興室】

＜移住相談の機能強化や就労支援等の取組＞

- ・ふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）に移住相談窓口「愛に行こう！あいち移住・定住相談センター」を設置し、愛知県専属の移住相談員が、本県への移住に関する相談対応を行いました。

※ふるさと回帰支援センターは、都市と地方の交流・移住・定住を支えるNPO団体。

相談件数：179 件

【総務局市町村課地域振興室】



・ふるさと回帰フェア 2023 及び J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2024 へ出展し、あいちの山里・離島への移住定住に関する相談対応を行いました。

1 ふるさと回帰フェア 2023 への出展（2023 年 9 月 17 日）

来場者数：21,429 人（愛知県ブース：15 名）

2 J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2024（2024 年 1 月 13 日～1 月 14 日）

来場者数 1 月 13 日：1,775 人（愛知県ブース：20 名）

1 月 14 日：1,562 人（愛知県ブース：15 名）



J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2024

【総務局市町村課地域振興室】

・三河山間地域を含む「あいちの山里・離島」の、移住先としての認知度を向上させるためのセミナーをふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）と共催で開催しました。

日時・参加者数：2023 年 9 月 22 日・10 名

2023 年 9 月 24 日・6 名

2024 年 2 月 2 日・7 名

2024 年 2 月 3 日・9 名

【総務局市町村課地域振興室】

・あいち U I J ターン支援センターの設置・運営を行い、首都圏等からの U I J ターン希望者に対し、個別相談を行うほか、県内企業の求人情報や地域情報の提供により、本県への転入・就職を支援しました。

就職決定者数：75 名（岡崎市 2 名、豊田市 2 名を含む）

【労働局就業促進課】

◆オンラインでの情報発信の強化・充実

＜三河山間地域ならではの情報発信＞

- ・三河山間地域等PRのために作成した**キービジュアル**を活用し、SNS広告により、**首都圏に向けた情報発信**を実施しました。

※ キービジュアルは、ロゴやシンボルマーク、キャッチコピー等を組み合わせて作られ、ウェブサイトや紙媒体において、メインとなるイメージ画像。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・「**あいちの山里時間**」WEBサイトを開設し**情報発信**を行うとともに、各種SNSにも「あいちの山里時間」のページを開設し、**インフルエンサーによる情報発信**を行ったほか、全国的に有名な雑誌に「あいちの山里時間」を掲載することで、**情報発信**を行いました。

S N S : Facebook、Instagram、X (旧 Twitter)

掲載雑誌：たのやく、地球の歩き方 愛知、東京人

【総務局市町村課地域振興室】（再掲）

＜関係人口の創出や移住促進への取組＞

- ・東三河地域に新たな魅力と価値を創造するため、東京圏や名古屋圏といった大都市の企業や個人と東三河地域とをコーディネートする機能の設置や移住パンフレットの作成、移住イベントへの出展や移住ポータルサイトの運用などにより、**大都市からの新たな関係人口の創出と、移住・定住を促進する取組**を実施しました。

【東三河総局企画調整課】

- ・愛知県交流居住センターにおいて、農産物の定植、収穫等の**地元集落との交流イベント**を実施したり、都市部と地方部に2つの拠点をもち、定期的に地方部でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルである**二地域居住について情報収集**するなど、段階に応じた地域との交流や多様な移住・定住について検討しました。

交流イベント実施地区・参加者数：東栄町古戸地区（7回）・延べ60名

【総務局市町村課地域振興室】

◆将来的な地域の担い手・関係人口づくり

＜地元の魅力の再発見や関心を高めるための取組＞

- ・東三河地域の各小学校の４年生を対象として、地域の魅力を伝える啓発資材パンフレット「東三河魅力発見ノート」の作成・配布を実施しました。

東三河地域の各小学校４年生（特別支援学校含む。）への
配布学校数：１３３校（計 ９,５８３部）

東三河８市町村への配布部数：３４０部

【東三河総局企画調整課】



東三河魅力発見ノート（表紙）

- ・愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点を運営し、企業訪問等により企業が抱える経営課題を明確化したうえで、課題を解決できるプロフェッショナル人材の獲得をサポートしました。

相談件数：４０３件（うち三河山間地域：３７件）

成約件数：６４件（うち三河山間地域：４件）

【労働局就業促進課】

- ・ふるさとで「働き、暮らす」ことを考えるきっかけづくりとして行う、奥三河の地域資源やそれに関わる仕事を紹介する取組の一環として、奥三河の小中学生向けの職業体験イベント「奥三河魅力創造カンパニーフェス in 東栄ドーム ふるさとで働くヒーローに会いに行こう！」を開催しました。（２０２３年８月２７日）



来場者数：３００人

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河のお仕事紹介冊子を奥三河の小学4～6年生全員と奥三河の中学生（各学級）に配布しました。（1,600部）



お仕事紹介冊子「ふるさとで働くヒーローズ 奥三河魅力創造カンパニー3 CHALLENGE SPIRIT ~未来を切り拓け~」

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河地域の人々との多様な関わりを促進するため、**専門的・実践的な関係人口創出セミナー**を実施しました。

関係人口創出セミナー

- ① 第1回 「インターネットを活用した共感者づくり」 参加人数：27名
- ② 第2回 「空き家にあかりを！～空き家は地域の共有資源～」 参加人数：31名

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河で活躍する女性の参画を得ながら、お仕事マッチングサイトを活用した関係人口創出に向けた取組を実施するとともに、okumikawaAwake ブランドの展開等について意見交換を行う**奥三河DMOサポーターミーティング事業**を実施しました。

※奥三河DMO・・・（一社）奥三河観光協議会が、愛知県初の日本版DMO（観光地域づくり法人。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人）として2018年3月30日に登録された。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

◆県立高等学校の魅力化

＜特色あるコースの設置＞

- ・田口高校では、**自然探究コース**において地域にある様々な資源を活用しながら地域の課題解決に取り組む探究的な活動を実施したほか、**足助高校**においては、**観光ビジネスコース**を新設し、足助地区だけでなく豊田市の山村地域の活性化も視野に入れながら、豊田市とも連携して、足助を知る・足助を知ってもらうための探究活動を実施しました。

【教育委員会高等学校教育課】

＜地域との連携＞

- ・田口高校と足助高校は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を開催し、地域住民の参画による教育課程の充実を図りました。

【教育委員会あいちの学び推進課、高等学校教育課】

- ・田口高校、新城有教館高校作手校舎と設楽中学校、津具中学校、東栄中学校、豊根中学校及び作手中学校との間で、故郷への愛情と誇りを育むふるさと交流活動（お仕事フェア、芸術展覧会交流）等を行いました（三河山間地域連携教育推進事業）。

お仕事フェア：2023年10月16日

参加者数：76名

芸術展覧会交流：2023年10月28日

～11月5日、参加者数：16名

【教育委員会高等学校教育課】（再掲）

- ・田口高校林業科において、林業科の魅力化と時代の変化に対応した林業従事者を育成するため、森林レーザースキャン装置を活用した森林情報収集・データ化等スマート林業を実践しました。

【教育委員会高等学校教育課】



三河山間地域連携教育推進事業



柱3 なりわいを育てる

- ・ 高齢化による廃業が進むことによる地域経済の縮小を防ぐため、事業承継や移住者による継業を推進するとともに、U I J ターンをされた方の定住を支援します。
- ・ 地場産業である農林水産業等の担い手の確保や、地域に必要な「なりわい」の担い手を育てます。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2023 年度）	目標値（2025 年度）
就業支援者数（累計）	40 人	50 人
新規就農者数（累計）	35 人	85 人
新規林業就業者数（累計）	124 人	200 人
サテライトオフィス整備支援数（累計）	【達成】9 施設	9 施設

（2023 年度の主な取組）

◆なりわいを生み出す拠点（サテライトオフィス）の設置

- ・ 2021 年度にサテライトオフィスとして必要な環境を整備した奥三河総合センターなど、三河山間地域でサテライトオフィスとして必要な環境があり、ワーケーションが実施可能な施設において、県内企業等が参加するモニターツアーを実施し、サテライトオフィスとしての利用者の受入環境を整備しました。



モニターツアーの様子

モニターツアーの実施（全て2泊3日）

参加者：合計 36 名

実施施設

：奥三河総合センター（設楽町）

古民家宿&バルてらわき（設楽町）

とうえい健康の館（東栄町）

のき山学校（東栄町）

休暇村茶臼山高原（豊根村）

【総務局市町村課地域振興室】



奥三河総合センターに設置したワークスペース

- ・三河山間地域の魅力を情報発信しているWEBサイト「あいちの山里時間」において、サテライトオフィスとして必要な環境があり、ワーケーションが実施可能な施設を掲載し、訪れやすい地域づくりを進めました。

【総務局市町村課地域振興室】

◆既存組織との連携によるなりわい支援の仕組みづくり

＜商工会や農業協同組合等との連携による新規起業者や就農者等への支援＞

- ・中小企業・創業者の事業活動の促進を図るため、市町村や金融機関と連携して、制度融資による金融支援を実施したほか、小規模事業者の経営改善を図るため、商工会による経営支援を行いました。

商工会による経営支援件数：約7,600件

(商工会：岡崎市(額田)、豊田市(藤岡、小原、足助、下山、旭、稲武)、
新城市、設楽町(設楽町、津具)、東栄町、豊根村)

【経済産業局中小企業金融課】

- ・県農業大学校において、農業に関する基礎知識等の研修を実施しました。

研修内容：ニューファーマーズ研修、農業者育成支援研修、農業技術研修

参加者：合計55名

ニューファーマーズ研修は、就農希望者等を対象に座学と実習を行い、実習については農業協同組合や先進農家等と連携して実施しました。



農業技術研修の様子

【農業水産局農業経営課】

◆農林水産業の担い手確保・育成

＜補助事業や制度資金の利活用、経営管理や技術指導＞

- ・平坦地に比べ、自然的・経済的・社会的条件の不利な山間地等を対象に、農林漁業の経営近代化、農林漁業資源の活用等を通じて、山間地等における営農等の振興を図るため、**山間地営農等振興事業**を実施したほか、条件不利地域での営農を支援し、農業生産の維持を通じて、多面的機能の確保を図るため、**中山間地域等直接支払制度**を実施しました。

山間地営農等振興事業：35,000 千円

中山間地域等直接支払：164,610 千円

【農業水産局農業振興課】

- ・経営の発展段階に応じた**経営管理や技術指導**のほか、集落営農の組織化・法人化への誘導、地域の生産組織等への指導のため、**専門家による経営相談**を実施しました。

農林水産事務所農業改良普及課における相談件数

西 三 河：延べ3件（三河山間地域分）

豊田加茂：延べ8件（三河山間地域分）

新城設楽：延べ4件

【農業水産局農業経営課】

＜農起業支援センターにおける企業やNPOなどの農業参入や就農希望者への支援＞

※農起業支援センター・・・就農及び企業等の参入への相談等に対応するために、各農林水産事務所の農業改良普及課等に設置された機関のこと。

- ・企業やNPOからの**農業参入に関する相談**のほか、**新規就農希望者に対する就農相談**や、**就農に関する情報提供等**、円滑な就農に向けた支援を実施しました。

農林水産事務所農業改良普及課における相談件数

西 三 河：参入 延べ3件 新規就農 延べ86件 ※管内全体数

豊田加茂：参入 なし 新規就農 延べ30件 ※管内全体数

新城設楽：参入 延べ2件、新規就農 延べ97件

【農業水産局農業経営課】

- ・県農業大学校において、**農業に関する基礎知識等の研修**を実施しました。

研修内容：ニューファーマーズ研修、農業者育成研修、農業技術研修

参 加 者：合計55名

【農業水産局農業経営課】（再掲）

- ・ **新品種や新技術の開発・普及**を行うとともに、**多様な担い手の確保・育成**を行いました。

新品種：スプレーギク「スプレー愛知夏4号」など2品種

新技術：安価で自作可能な栽培環境モニタリング装置の開発など9技術

新規就農者：西三河 2名、豊田加茂 2名、新城設楽 12名

【農業水産局農業経営課】

＜森林・林業の魅力発信や林業への就業相談、計画的かつ体系的な研修の実施＞

- ・ **愛知県林業労働力確保支援センター**等と連携した**就業相談活動や研修事業等**を実施したほか、森林組合の経営基盤の強化に向けた指導を随時実施するとともに、意欲と能力のある**林業経営体の育成、新規就業者への支援**を実施しました。

※ 愛知県林業労働力確保支援センターは、公益財団法人愛知県林業振興基金に委託し、新規に林業に就業した方々をサポートする総合窓口

就業相談活動：7回

林業従事者研修：48日開催、延べ399名参加

育成した林業経営体：14者

支援した新規就業者：10名

【農林基盤局林務課】

＜水産業の技術支援や経営の安定化に向けた支援＞

- ・ 水産試験場において養殖業者に対し巡回指導を実施したほか、漁業近代化資金を融資した融資機関に対する利子補給に加え、県資金を融資機関に預託し、融資機関から漁業者に対する漁業振興資金の貸付を実施しました。

巡回指導：5件

利子補給承認件数：1件

貸付件数：1件

【農業水産局水産課】

＜人材育成に向けた教育の充実、多様な農業の担い手確保＞

- ・県農業大学校において、I C T温室での環境制御生産技術の習得支援やスマート農業技術に関する授業を実施しました。

I C T温室研修会参加者：105 人

【農業水産局農業経営課】



I C T温室での実習の様子

- ・林業関係高校生に対し、林業に係る体験講座を開催しました。

開催回数、参加者数：6 回、130 人

講座内容：林業現地見学、高性能林業機械の操作体験等

【農林基盤局林務課】

- ・農業と他の仕事を組み合わせた働き方である半農半Xについて、相談会、セミナー及び志向者を対象とした現地見学会・市町村等を交えた意見交換会を開催しました。

相談会・セミナー

2 回（2023 年 9 月 30 日、2024 年 1 月 13 日）、20 名参加

現地見学会・意見交換会

5 回（2023 年 10 月 21 日、11 月 12 日、12 月 9 日、2024 年 1 月 14 日、1 月 27 日）

会場：常滑市、豊田市、田原市、新城市、岡崎市

36 名参加



【農業水産局農業振興課】

「半農半X」相談会の様子

- ・農林水産物等を活用し新たな事業や商品開発に取り組む農林漁業者等に対し、**6次産業化サポートセンター**による支援を行いました。

※ 6次産業化サポートセンターは、農山漁村の豊かな地域資源を有効活用した取組を行う農林漁業者等の経営改善や経営全体の付加価値向上を支援する相談窓口であり、プランナー派遣等による個別相談を行っている。

※ プランナーは、6次産業化サポートセンターに登録された、農業全般・加工・流通・経営管理等の分野に知見を有する民間の専門家。

プランナー派遣回数：延べ 154 回

うち三河山村地域への派遣回数：延べ 17 回（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町）

人材育成研修会の開催：18 回、合計 234 人が受講

【農業水産局食育消費流通課】

◆農林水産業の競争力向上

＜「地域ブランド」の確立と販路の拡大＞

- ・首都圏等において、**トップセールス**の実施等により、愛知県産農産物の重点販売を行う**農産物フェア**を開催しました。

実施期間：2024 年 2 月 9～12 日、24 日、25 日

実施場所：東急ストア中央林間店始め 73 店舗

※ 2 月 10 日に、東急ストア中央林間店において、知事が県産農産物の P R を実施。



首都圏における
知事トップセールス

【農業水産局食育消費流通課】

- ・県産水産物の知名度向上を図るため、ＳＮＳ、雑誌、各種行事等で県産水産物のＰＲを行ったほか、授業で水産業について学ぶ機会のある県内全ての小学５年生を対象に、教材として「水産業のパンフレット」と「下敷き」を配布しました。



配布した教材
(水産業のパンフレット（左）、
下敷き（右）)

【農業水産局水産課】

- ・県内の全ての公立小中学校等において「愛知を食べる学校給食の日」を実施することで地場産品のＰＲを図ったほか、地場産品を取り入れた「あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」を開催しました。

【教育委員会保健体育課】

＜スマート林業の推進、エリートツリーの普及、木材利用の促進＞

- ・県、市町村、林業経営体が森林に関する情報を相互に利用できる**森林クラウドシステム**について、**試行運用**を行ったほか、木材需給情報システムの普及に努めました。

【農林基盤局林務課】

- ・エリートツリーなどの**種苗生産技術や育林技術等の研究**を行いました。

※ エリートツリー：各地の山で選抜された精英樹（第１世代）の中でも、特に優れたものを交配した苗木の中から選ばれた、第２世代以降の精英樹の総称。成長が早い、通直性等に優れ、花粉が少ないという特徴を持つ。

【農林基盤局林務課】

- ・「**木材利用の促進に関する基本計画**」に基づき、県産木材を利用したＰＲ効果の高い建築物等への支援や木造非住宅建築物の設計・建築実証、外国産木材に依存している横架材の**県産木材への転換**を促進するための調査を実施しました。

【農林基盤局林務課あいちの木活用推進室】

- ・農業に関して、人工衛星を利用した**ＩＣＴシステム**による**出穂期予測**を活用した**適期防除**を実証しました。

【農業水産局農業経営課】

- ・農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換など、産地の収益力向上及び生産基盤強化に向けた取組を支援しました。**(産地生産基盤パワーアップ事業)**

支 援 先：新城市（施設野菜）

支援内容：ハウスの整備（４棟）

【農業水産局園芸農産課】

- ・農業用用水路や排水路などの**農業生産基盤整備**を実施しました。

地区数：８地区（豊田市、新城市、設楽町）

【農林基盤局農地整備課】（再掲）

- ・あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金の農商工連携枠について、１件採択されました。

【経済産業局産業振興課】

◆地域を超えた人材のネットワーク化

- ・起業等により地域課題解決に挑戦するあいちの山里アントレワーク実践者を募集し、採用された実践者(7名)に起業プランの実現に向けた支援を行いました。

氏名	拠点市町村・地区	事業概要
青木 彩乃	東栄町	東栄町の豊かな森資源や空き家を活用した新たな特産品・観光コンテンツの創出。 森林組合と連携し、原料の調達と森林の手入れを併せて行うことで、土砂災害リスクや獣害の減少に貢献する。また新たな雇用・移住創出による過疎化の改善に貢献する。
池野 恵理	豊田市 藤岡地区	自宅分娩取り扱い助産院の開業。 藤岡で産めるという選択肢を増やすことや、地域の人や企業とも妊娠出産子育てを共にする意識の共有を広げることで、藤岡地域の魅力化の一助とする。
伊藤 奈穂子	東栄町	自然体験活動を基軸にした認可外保育施設「森のようちえん」の開業。 保護者に保育環境の選択肢を与え、町保育園に係る保育士の負担を緩和するとともに、移住の促進や子育てに関する課題解決の一助とする。
坂井 うらら	豊田市 下山地区	ダウン症の方向けのアップサイクルブランドの立ち上げ。 障がいのある方への理解が深まり、誰もが住みよい地域になることにより、過疎化・少子化問題に貢献する。
清水 朝子	岡崎市 額田地区	福祉タクシーを基盤とした地域の生活支援サービスの運営。 地域の高齢者の足問題の解決及び移住者を促進する。
村松 久暢	豊根村	自然を生かしたキャンプ場やライブハウス等の運営。 外からの人との交流イベントを仕掛けることで賑わい創出とキャンプ場認知度アップを狙う。
山本 利沙	新城市 作手地区	地域の観光収益増を目的とした商品開発・販売の実施。 観光客の集客、地域の活性化、雇用の増加の一助とする。

※アントレワークは、アントレプレナー（起業家）とワーク（仕事）を合わせた造語。



2023 年度あいちの山里アントレワーク実践者

【総務局市町村課地域振興室】

- ・あいちの山里アントレワーク実践者育成に連動し、三河山間地域でのなりわいネットワーク構築を図るため、共同セミナー実施、オンライン交流機会の創出等により、地域内連携の強化を図るとともに、地域外の事例調査を行いました。

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域産業の事業支援や円滑な事業承継

＜産業振興に関する総合的な支援、事業承継の促進＞

- ・産業空洞化対策減税基金に基づく立地補助金を活用した支援、産業立地促進税制による不動産取得税の減額・免除を行うとともに、産業立地サポートステーションによる企業訪問や県内市町村との合同企業訪問を実施したほか、各種セミナー・イベントを開催しました。

産業立地サポートステーションによる企業訪問：1,884回

共同企業訪問を行った市町村：岡崎市、豊田市、新城市

セミナー、イベント開催回数、参加者数：計3回、計500名

【経済産業局産業立地通商課】

- ・企業のニーズや動向に適応した用地開発の推進を目的として、開発を検討している市からの相談に対応したほか、開発に向けた諸課題を整理し、市の開発検討をサポートしました。

【企業庁工務調整課】

- ・事業継承について、（公財）あいち産業振興機構による後継者育成塾や、専門家の派遣を通じた支援を実施しました。

後継者育成塾参加者数：171名

専門家派遣件数：12件

【経済産業局中小企業金融課】

＜「愛知県交流居住センター」による継業事業等＞

- ・新たな林業の担い手の確保・育成を目的に、森林・林業に関心を持つ方や就業を考えている方を対象にした森林の仕事エリアガイダンスに、「愛知県交流居住センター」が相談ブースを出展し、移住・定住の側面から就林希望者の相談に応じました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・「愛知県交流居住センター」において、三河山間地域の中小企業・小規模事業者に対し、都市部で活躍する外部人材を「兼業・副業・プロボノ」という形で支援者を送り込む**あいちの山里ふるさと兼業事業**を実施しました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・**あいちU I Jターン支援センター**の設置・運営を行い、首都圏等からのU I Jターン希望者に対し、個別相談を行うほか、県内企業の求人情報や地域情報の提供により、本県への転入・就職を支援しました。

就職決定者数：75名（岡崎市2名、豊田市2名を含む）

【労働局就業促進課】（再掲）

柱4 地域資源のさらなる磨き上げ

- ・ リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通や設楽ダム completionを見据え、地域に数ある道の駅を核とし、県や市町村の境界を越えた広域観光ネットワークを構築します。
- ・ 歴史、産業、自然、文化、スポーツなど、それぞれの地域に根差した地域資源をテーマごとに深掘りした上で、広域的な連携に取り組みます。
- ・ 旅行者の誘客強化に向けて、人材育成や多言語表記など受入体制の拡充を図ります。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2023 年度）	目標値（2025 年度）
観光レクリエーション利用者数	667 万人	660 万人
愛知産ジビエを活用した新商品数（累計）	【達成】7 商品	5 商品
スポーツ大会数	6 大会	5 大会

（2023 年度の主な取組）

◆人やストーリーに着目した情報発信方法の強化・充実

- ・ あいちの山里の人々と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の拡大につなげるため、地域で生産される果実を活用した商品を開発しました。また、鳳来寺山にまつわるストーリーと、新城市の間伐材を使ったスプーンを付加したうえで販売することで鳳来寺山のPRを行い、地域における新たな魅力を創造しました。



開発したジャム（左よりイチジク、ゆず）と、
間伐材を使用して作成したスプーン

【総務局市町村課地域振興室】

- ・地域の特産品について、「食と花の街道」、「都市農村交流ガイド」などのWebサイトや、SNSを活用して情報発信するとともに、食と花の街道のPRの場を提供したほか、おかざきかき氷街道及びとよた五平餅街道の更新認定を行いました。

【農業水産局農業振興課】

- ・奥三河の「多彩な美」に関する魅力創造・発信のため、県内3か所でプロモーションイベントを実施したほか、奥三河地域の滞在促進に向け、東京都、大阪府を含めた4か所で観光PRを実施しました。

1 プロモーションイベント

- ① 道の駅 筆柿の里幸田（幸田町、2023年7月2日、来場者数3,000名）
- ② イオンモール豊川（豊川市、2023年9月30日、10月1日、来場者数2,000名）
- ③ emCAMPUS（豊橋市、2023年11月11日、来場者数：300名）

2 奥三河地域に関する観光PRの実施

- ① JR大阪駅（大阪市、2023年10月3日、PR冊子120部配布）
- ② 県営名古屋空港（豊山町、2023年10月7日、PR冊子300部配布）
- ③ JR東京駅（東京都、2023年10月14日、PR冊子300部配布）
- ④ 藤が丘商店街（名古屋市、2023年11月3日、PR冊子150部配布）



道の駅 筆柿の里幸田における
プロモーションイベントの様子

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・県営名古屋空港に設置したアンテナショップ「まるっと！あいち」において、三河山間地域から寄せられる特産品を販売することで、特産品のPRを行うとともに、販路拡大を行いました。

【経済産業局中小企業金融課】

- ・愛知県公式観光ウェブサイト「A i c h i N o w」において、三河山間地域の観光情報について情報発信を行いました。

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】

- ・WEBサイト「キラッと奥三河ナビ」内に「多彩な美」に関する新たなページを作成するとともに、コラムを掲載することで、奥三河の多彩な美に関する情報発信を行いました。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

◆市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

＜首都圏や近隣県との連携や広域観光の推進への取組＞

- ・産業観光、武将観光等の施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施することで、県内の観光資源の魅力発信、及び周遊促進を図りました。

スタンプラリー参画施設数：200 施設

（うち愛知県 100 施設、うち三河山間地域：15 施設）

応募者数：1,098 名（応募総数 2,037 名）

登録者数：5,303 名

施設訪問者数：25,520 名

【観光コンベンション局観光振興課】



デジタルスタンプラリー
の開催をPRするチラシ

- ・中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等が協働してインバウンドを推進する「昇龍道プロジェクト」に参画し、広域での誘客に取り組みました。

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】

- ・愛知県東三河地域と静岡県遠州地域で開催されるマラソン大会（対象大会）のそれぞれの記録により獲得するポイントの合計でランキングを競う三遠マラソンシリーズを開催しました。

対象大会：「とよね・みどり湖ハーフマラソン」、「袋井クラウンメロンマラソン」、「新城マラソン大会」、「三河湾健康マラソン大会」

【東三河総局新城設楽振興事務所】

＜地域資源の磨き上げ、特定のテーマや異なるテーマの結びつけによるアピール＞

- ・大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機として、**武将にまつわる施設等を巡るデジタルスタンプラリー**を実施することで、県内の観光資源の魅力発信、および周遊促進を図りました。

パンフレット発行部数：10 万部

ポスター作成部数：1,000 部

ラリースポット対象施設：160 施設（うち三河山間地域 12 施設）

参加者数：11,484 人

【観光コンベンション局観光振興課】

- ・ジャパンエコトラックルートを活用し、**徳川家康公ゆかりの地を巡るデジタルスタンプラリー**を実施しました。

（総アクティブログ数：469）

ジャパンエコトラック：トレッキング・カヌー・自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しみながら旅をするスタイルのこと。

東三河地域は 2021 年 3 月にジャパンエコトラックの認定エリアとなっている。

アクティブログ：公式アプリを利用して、「アクティビティを開始する」ボタンが押された回数。

【東三河総局企画調整課】

- ・モンベルフレンドエリアに登録し、**東三河のアウトドアスポーツを始めとする観光情報**を、100 万人を超えるモンベルクラブ会員を軸に発信しました。

モンベルフレンドエリア：市町村、地域単位で登録することで、モンベルが提供する各種サービスを優待料金で利用できる他、登録地域の観光、アウトドアフィールドの情報を会報誌・WEB サイトなどによりモンベルクラブ会員へ発信可能。

【東三河総局企画調整課】

- ・第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）では、**新城市が自転車競技（ロードレース）の競技会場**として予定されていることから、競技に関心の高いサイクリストを主なターゲットとし、東三河地域への来訪及び周遊を促すため、**インフルエンサー等を起用した情報発信及びイベントを実施**しました。

プロサイクリスト笥五郎氏による SNS での情報発信

（12 回、ブログ・X アクセス合計 78,016 件）

愛三工業レーシング上級アドバイザーである中根英登サイクルアカデミーの実施（2 回、合計 15 名参加、自転車情報誌等へのイベント内容の記事掲載 10 件）

【東三河総局企画調整課】

コラム【大河ドラマ「どうする家康」を活用した観光施策について】

2023 年の大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機として「徳川家康ゆかりの地」及び「武将のふるさと愛知」を広く全国に情報発信するとともに、観光振興による地域の活性化を図るため、県や市町村、観光関係団体など、三河山間地域の団体を含む 107 団体で構成する「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」が設立されました。

この協議会では、2022 年から 2023 年の 2 か年に渡り、オール愛知の連携体制のもと、武将を始めとした県内の戦国コンテンツを活用した誘客と県内周遊に取り組んできました。

このうち、武将にまつわる施設等を巡るデジタルスタンプラリー「あいち家康戦国絵巻ラリー」では、新城市の設楽原歴史資料館、長篠城址や設楽町の田峯城など、三河山間地域においても多くのスポットを設け、沢山の人が訪れました。

また、NHKとの相互協力により実施した、県内各地でのパネルの巡回展示（県内 13 か所）では、新城市役所 1 階情報カフェにおいても展示を行い、約 1,000 名が訪れました。



「あいち家康戦国絵巻ラリー」
PR 冊子表紙



新城市役所 1 階情報カフェでの
パネルの巡回展示の様子

今後は、大河ドラマ「どうする家康」を活用した観光振興の取組のレガシーを継承するとともに、武将観光に留まらず、「お城観光」や「街道観光」も包含した、「歴史観光」の一層の振興を図るため、「あいちの歴史観光推進協議会」（「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」を母体に、「愛知のお城観光推進協議会」「愛知県街道観光推進協議会」を統合）を中心に、取組を強力に推進してまいります。

◆地域資源の着地型観光プログラム化の推進

＜新たな観光ブランドの活用や、奥三河DMOへの支援＞

- ・「okumikawAwake/メザメ奥三河」の取組を継続しつつ、多方面の「奥三河の美しさ」に着目した新たな魅力の創造・発信を実施したほか、奥三河DMOサポーターミーティングにおいて、お仕事マッチングサイトを活用した関係人口創出に向けた取組を実施するとともに、okumikawAwake ブランドの展開等について意見交換を行いました。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河の「多彩な美」に関する魅力創造・発信のため、**県内3か所でプロモーションイベントを実施**したほか、奥三河地域の滞在促進に向け、**東京都、大阪府を含めた4か所で観光PRを実施**しました。

1 プロモーションイベント

- ① 道の駅 筆柿の里幸田（幸田町、2023年7月2日、来場者数3,000名）
- ② イオンモール豊川（豊川市、2023年9月30日、10月1日、来場者数2,000名）
- ③ emCAMPUS（豊橋市、2023年11月11日、来場者数：300名）

2 奥三河地域に関する観光PRの実施

- ① JR大阪駅（大阪市、2023年10月3日、PR冊子120部配布）
- ② 県営名古屋空港（豊山町、2023年10月7日、PR冊子300部配布）
- ③ JR東京駅（東京都、2023年10月14日、PR冊子300部配布）
- ④ 藤が丘商店街（名古屋市、2023年11月3日、PR冊子150部配布）

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）

＜愛知県多言語コールセンターの運営等による市町村への支援＞

- ・本県を訪れる外国人旅行者の快適な滞在や満足度向上を実現するため、外国人旅行者の問い合わせ対応及び観光関係事業者を対象とする電話通訳サービス等の提供を行う24時間対応の**多言語コールセンターを運営**しました。

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】

- ・奥三河地域の観光事業者等のおもてなし能力を向上させるため、ワークショップ等を開催しました。

① SNS等での情報発信に関するワークショップの実施

第1回 2023年9月21日 参加人数 30名

第2回 2023年11月16日 参加人数 78名

② 新城市、設楽町、東栄町及び豊根村に関する歴史講座の開催

第1回 2023年5月18日 参加人数 38名

第2回 2023年6月22日 参加人数 32名

第3回 2023年7月20日 参加人数 56名

第4回 2023年8月17日 参加人数 31名

③ 外国人観光客の対応能力向上に関する講演会とワークショップを実施

ワークショップ 2023年10月21日 参加人数 18名

講演会 2023年12月22日 参加人数 105名

【東三河総局新城設楽振興事務所】

<設楽ダムの情報発信・誘客促進>

- ・設楽ダムの水源地域に足を運んでもらうきっかけづくりのため、水源地域交流啓発WEBサイト「とよがわびより」や「とよがわびよりX（旧Twitter）」を通じて、季節の情景や、設楽ダム関連工事の進捗、地元開催イベントなどの情報発信を行いました。また、設楽ダムの水源地域の振興を図るため、設楽町が実施する生活基盤整備等に係る事業に対し支援を実施しました。

【建設局水資源課】

◆伝統文化の継承・発信

<文化財の修理・記録保存・活用>

- ・国及び県の指定文化財並びに県の登録文化財のうち、主に建造物、美術工芸品、民俗文化財の保存修理等に係る経費の一部について、補助金を交付しました。（文化財保存事業費補助金）

国指定：49件、県指定：7件 計 74,043,000円

うち三河山間地域内 国指定：4件 計 525,000円

【県民文化局文化芸術課文化財室】

- ・国の重要無形民俗文化財に指定されている「**花祭**」等、**三河山間地域の貴重な伝統文化を保存・継承**するため、保存団体等からの申請に基づき、伝統文化の振興等に係る経費の一部について**補助金を交付**しました。

小林花祭保存会（東栄町）：165 千円

河内花祭保存会（東栄町）：318 千円

【東三河総局新城設楽振興事務所】



小林花祭

＜伝統文化の魅力の発信、後継者の育成や地域・観光の活性化＞

- ・民俗芸能を始めとした伝統文化に対する理解と認識を深めるため、国や県の指定・未指定を問わず愛知県内に伝承されている民俗芸能を公開し、その鑑賞を通じて無形民俗文化財等の保存・伝承を図る**愛知県民俗芸能大会**を開催しました。

公開した伝統芸能のうち三河山間地域関連：鳳来寺田楽（新城市）

【県民文化局文化芸術課文化財室】

- ・地域の民俗芸能保存団体を小中学校に招き、民俗芸能を紹介・披露するとともに、小中学生の民俗芸能の体験や、練習及び発表により地域の民俗芸能の担い手育成を実施しました。（**伝統文化出張講座**）

実施校：小学校 4校、中学校 1校（うち三河山間地域 1校）

【県民文化局文化芸術課文化財室】

- ・「あいち山車まつり日本一協議会」を通じ、山車まつりの保存団体及び山車まつりが所在する市町の相互交流・連携により、山車まつりの魅力を県内外へ広く発信するとともに、**山車まつりの保存・継承及び振興**をはかりました。

- ・「あいち山車まつり日本一協議会」総会・研修会の開催（2023年6月11日）

総会：116名、研修会：93名参加

- ・「日本の祭シンポジウム」開催（2023年9月17日）

150名参加

- ・山車まつり支援アドバイザー相談事業の実施

- ・後継者育成等山車まつりツアー事業

あいち山車まつりツアー（足助祭り始め6か所、15回）

あいちの山車施設巡り（5か所、5回）

- ・山車まつりフォト1,000枚プロジェクト

山車まつりの写真を募集（1,084枚）し、県内4か所で巡回写真展を開催

【県民文化局文化芸術課文化財室】

◆愛知産ジビエ等の利用促進

＜「愛知産ジビエ」の消費拡大の取組＞

- ・愛知産シカ肉利用拡大のため、加工品販売のブース出店や、試食イベントを実施しました。

1 ブース出店

- ① ふるさとイッチー祭（名古屋市、2023 年 10 月 28～29 日）
- ② あぐりん村（長久手市、2023 年 11 月 11 日）
- ③ げんきの郷（大府市、2023 年 11 月 19 日）
- ④ ピピっと！あいち（名古屋市、2024 年 1 月 30 日）

2 試食イベント

2022 年度に開発したシカ肉加工品を使ったメニューを県内 5 店舗で提供

【農業水産局農業振興課】

- ・あいちの山里関係人口拡大事業において、大学生を対象としたフィールドワークにおいて、ジビエ料理を実食するなど、三河山間地域のジビエに関する情報を発信しました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・野生鳥獣解体処理技術講習会の実施や、「愛知県野生鳥獣肉衛生管理ガイドライン」の普及啓発、野生鳥獣肉処理施設等の衛生管理指導など、愛知産ジビエの安全な流通に向けた取組を実施しました。

【保健医療局生活衛生課】

＜水産物等の地域資源を活用した情報発信＞

- ・県産水産物の知名度向上のため、SNS、雑誌、各種行事において、PRを行いました。

【農業水産局水産課】

- ・Facebook や Instagram などの SNS における、鮎やアマゴ、絹姫サーモンやチョウザメなどの地域の水産物や五平餅などのソウルフードに関する投稿により、地域資源を活用した情報発信を実施しました。

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域に密着したスポーツの普及・支援の推進

＜スポーツを通じた集客・交流、アジア競技大会につながる取組＞

- ・ラリーの最高峰に位置する世界選手権「F I A世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン」では、大会のPRや開催市町（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町）の観光情報を掲載した観戦ガイドの作成等による愛知の魅力発信を行いました。

開催日：2023年11月16日～19日

開催場所：

豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・
林道・農道（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、中津川市、恵那市）

【スポーツ局スポーツ振興課】



優勝チームの集合写真

- ・国内屈指の難関トレイルレース「奥三河パワートレイル」については、大会のPRやトレランEXPOの盛り上げ、エイドステーションにおける地域特産品の提供等による愛知の魅力発信を行いました。

開催日：2023年10月1日

コース：茶臼山高原（豊根村）～ふれあいパークほうらい（新城市）

参加者数：382人

【スポーツ局スポーツ振興課】

- ・愛知県東三河地域と静岡県遠州地域で開催されるマラソン大会（対象大会）のそれぞれの記録により獲得するポイントの合計でランキングを競う三遠マラソンシリーズを開催しました。

対象大会：「とよね・みどり湖ハーフマラソン」、「袋井クラウンメロンマラソン」、「新城マラソン大会」、「三河湾健康マラソン大会」

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）



三遠マラソンシリーズ

- ・第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）では、**新城市が自転車競技（ロードレース）の競技会場**として予定されていることから、競技に関心の高いサイクリストを主なターゲットとし、東三河地域への来訪及び周遊を促すため、**インフルエンサー等を起用した情報発信及びイベントを実施**しました。

プロサイクリスト笥五郎氏によるSNSでの情報発信

（12回、ブログ・Xアクセス合計78,016件）

愛三工業レーシング上級アドバイザーである中根英登サイクルアカデミーの実施
（2回、合計15名参加、自転車情報誌等へのイベント内容の記事掲載10件）

【東三河総局企画調整課】（再掲）

◆自然環境・生物多様性の保全・利用の促進

＜自然環境の保全活動や環境学習に対する支援等＞

- ・新城設楽生態系ネットワーク協議会（構成：大学、NPO等、企業、市町村及び県）は、三河山間地域の豊かな自然環境を守るため、**植樹等を行う自然体感ツアーや生物多様性に関するフォーラムなどを開催**しました。

【環境局自然環境課】

- ・あいち森と緑づくり事業による、地域住民や団体等による**保全活用を前提とした里山林整備**を実施しました。

2023年度 2件実施

【農林基盤局森林保全課森と緑づくり推進室】

- ・森・緑の育成活動事業、水と緑の恵み体感事業、森林生態系保全の学習事業、太陽・自然の恵み学習事業などを行うNPO等に対し、**あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業による活動支援**を実施しました。

支援対象 19事業（三河山間地域分）

【環境局環境活動推進課】

- ・水源林保全活動等に取り組む市町村等に対し、活動に必要な経費の一部について、（公財）豊川水源基金及び（公財）矢作川水源基金を通じて補助しました。

【建設局水資源課】

- ・自然公園法及び愛知県立自然公園条例に基づく許認可制度の適正な運用により**優れた自然の風景地を保護**しました。

【環境局自然環境課】

- ・国定公園内の自然公園施設について、利用者の安全で快適な利用を確保するため、**老朽化した施設の再整備・修繕**を実施しました。

【環境局自然環境課】

柱5 新たなライフスタイルへの対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式への対応により注目されている、テレワークやワーケーションの促進を図ります。
- ・ 新たなモビリティサービスの導入やドローンを活用した物流促進など、新しい技術を活用することで、これまでにない山間地域での暮らしのあり方を確立します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2023 年度）	目標値（2025 年度）
主なリモートワーク可能施設数（累計）	15 か所	18 か所
リモートワーク実証実験数（累計）	【達成】12 件	9 件
空き家・空き地の調査件数（累計）	248 件	300 件

（2023 年度の主な取組）

◆テレワークやワーケーションの促進・誘致

<テレワークやワーケーションの促進>

- ・ 三河山間地域のワーケーション等を先導的に推進するため、三河山間地域でワーケーションが実施可能な施設において、県内企業等が参加するモニターツアーを実施するとともに、三河山間地域独自の新しいライフスタイルの構築に向けた検証を行い、その結果を踏まえて「あいちの山里型ワーケーション 参考マニュアル」を作成しました。

モニターツアーの実施（全て2泊3日）

参加者：合計 36 名

実施施設

：奥三河総合センター（設楽町）

古民家宿&バルてらわき（設楽町）

とうえい健康の館（東栄町）

のき山学校（東栄町）

休暇村茶臼山高原（豊根村）

【総務局市町村課地域振興室】

- ・ 三河山間地域の魅力を情報発信しているWEBサイト「あいちの山里時間」にワーケーションのモデルコースを掲載し、三河山間地域におけるワーケーション等を促進しました。

【総務局市町村課地域振興室】

＜テレワーク導入に向けた支援＞

- ・ 中小企業等に対し、テレワークの導入や定着について相談対応等を行う**サポートセンター**やテレワーク体験等ができる**モデルオフィス**を設置・運営したほか、導入事例動画の紹介や、アドバイザーの派遣等、様々な支援を実施しました。

サポートセンターにおける相談件数：1,553 件

導入事例動画の紹介：11 件

アドバイザー派遣：143 回（うち三河山間地域：3 回）

テレワーク試行支援：45 回（うち三河山間地域：3 回）

サテライトオフィス見学・体験会：2 回・27 名参加

テレワーク体験等を行うモデルオフィスの設置：利用者数 2,527 名

テレワーク・スクールの開催：6 回・127 名参加



「あいちテレワークサポートセンター」
【労働局労働福祉課】



「あいちテレワークモデルオフィス」

- ・ 企業における働き方改革の取組を支援するため、**サポートセミナー**や**ワークショップ**を開催しました。

サポートセミナー：全 15 回、545 名参加

ワークショップ：全 3 回、66 名参加

【労働局労働福祉課】

◆空き家・空き地の流通促進

- ・ 北設楽郡 3 町村における空き家等の流通促進に向け、**空き家所有者に対して各種相談や町村に対する空き家利活用の助言を行う空き家マイスター（アドバイザー）を派遣**したほか、**空き家マイスターが空き家の物件調査を行い、空き家バンク登録に必要な資料作成の支援**を行いました。

派遣・調査先町村：東栄町、豊根村

派遣・調査件数：14 件

【総務局市町村課地域振興室】

◆新たなモビリティサービスやドローンなどの新技術の導入支援

＜高齢者等の住民の移動手段確保につながる取組への支援＞

- ・あいち自動運転推進コンソーシアムによる実証実験の支援を行い、県内において17件の自動運転実証実験が実施されました。

【経済産業局産業振興課次世代産業室】

- ・MaaS推進会議を2回開催し、新たなモビリティサービスの導入促進などについて検討しました。

【都市・交通局交通対策課】

- ・環境性能に優れたEV・PHV・FCVといったゼロエミッション自動車の普及に向けた取組を進めました。

先進環境対応自動車導入補助：1,474台

自動車税種別割の課税免除：9,181台

16件のイベント等にEV・PHV・FCVを出展

【環境局地球温暖化対策課】

- ・県の中山間地域での代表的な良食味ブランド米であるミネアサヒSBLについて、最適な施肥量を検討しました。



【農業水産局農業経営課】

- ・県、市町村、林業経営体が森林に関する情報を相互に利用できる森林クラウドシステムについて、試行運用を行いました。

【農林基盤局林務課】

＜ドローンの実験や導入に向けての支援＞

- ・市町村が整備する緊急支援物資の調達・輸送等に無人航空機を活用する事業について、財政的支援を実施しました。（南海トラフ地震等対策事業費補助金）

【防災安全局災害対策課】

地域別の取組状況

あいち山村振興ビジョン 2025 では、三河山間地域全体を一律に捉えるのではなく、都市部への距離、地域の特性、自然環境、各自治体におけるまちづくり戦略を考慮し、地域別の視点を導入してきめ細やかな分析・対応を行うため、地域を「額田地域」、「豊田加茂地域」、「新城地域」、「北設楽地域」の4つに分け、それぞれの地域の実情に沿った施策を展開しています。ここでは、2023 年度に実施した地域別の主な取組（県、市町村）について御紹介します。

○額田地域

岡崎市中心部を始めとする産業の活力を地域経済や暮らしの豊かさに波及させながら都市部との結びつきの強化を活かした施策を展開。

(2023 年度の主な取組)

- ・中山間地域の住民とともに、地域の計画作成、施設の有効活用方法を検討・実証し、都市部住民を地域に呼び込み、活性化を図りました。



地区計画作成



農林業体験イベント（わんパーク）

【岡崎市】

- ・高収益作物（漆・楮）の植栽・維持管理を進めるとともに、商品開発にも取り組みました。



漆植栽状況



楮（繊維採取作業状況）

【岡崎市】

- ・農地を保全し、多面的機能の維持・発揮を促進するため、土地利用構想図の作成のための地域の話合いを進めました。

【岡崎市】

- ・有機農業を核とした地域ブランディング等を図るため地域に即した手法の検討等に取り組み、有機農業実施計画を策定し、オーガニックビレッジ宣言を行いました。
(2024年3月26日)



【岡崎市】

- ・農泊施設も活用し、地域資源を活かした体験プログラム等の拡充を進め、関係人口創出を図りました。また、インバウンド対応の取組として、外国人を対象として、地域資源の柚子や茶を活用した体験コンテンツのモニターを実施しました。



【岡崎市】

- ・価格面だけではなく、環境面からの有効性も踏まえて、市産材の利用促進に取り組み、林業の活性化を図るため、市産材を利用したワークスペース製作の実証及び普及も図って市民参加の製作体験会を実施しました。



【岡崎市】

○豊田加茂地域

都市部との近接性を活かした二地域居住やU I J ターン促進を行うとともに、リニア中央新幹線開業による新しい人の流れを取り込む施策を展開。

(2023 年度の主な取組)

- ・「医療コンテナへの医療物資の往復輸送」をテーマとしたドローンの実証実験を実施しました。（2023 年 11 月 15 日）
 - ・イベント会場で急病発生を想定し、3 km 離れた地点から医療物資をドローンで輸送しました。復路では、医療廃棄物に見立てた物資の輸送を実施しました。



【経済産業局産業振興課次世代産業室】

- ・空き家を住宅資源として活用する空き家情報バンク等の事業を実施したほか、同事業に付随する各種事業を実施しました。
 - ・補助事業（片付け補助件数・金額：12 件・1,594 千円、
改修補助件数・金額：18 件・19,028 千円）
 - ・起業支援（2 件）
 - ・事業者向け空き家見学・相談会（稲武、2023 年 12 月 6 日）
 - ・空き家見学ツアー（稲武、2023 年 8 月 11・22 日、10 月 22 日）
 - ・移住希望者交流会（稲武、2024 年 2 月 3 日）
 - ・空き家片付けイベント（下山、2024 年 3 月 10 日）
 - ・空き家セミナー（藤岡、2024 年 3 月 23 日）



【豊田市】

- ・ 豊田市の住まいに関する魅力を発信するプロモーション事業を実施するとともに、引き続き首都圏からの移住、山村部での住宅取得を応援する補助金事業を実施しました。

イベント出展

- ・ 24 時間テレビ（2023 年 8 月 26 日、8 月 27 日 豊田市駅東口）
- ・ ふるさと回帰フェア（2023 年 9 月 17 日 東京国際フォーラム）
- ・ とよた産業フェスタ（2023 年 9 月 30 日、10 月 1 日 豊田スタジアム）
- ・ 秋葉ハウジングセンター（2023 年 10 月 28 日 秋葉ハウジングセンター）

豊田市山村地域等定住応援補助金

補助件数・金額：17 件・11,870 千円

【豊田市】

- ・ 交流・連携・移住の相談機能を備えた総合相談窓口となるおいでん・さんそんセンターを運営し、企業、大学、団体等の様々なニーズに応じた地域との交流機会や継続的な関わりをコーディネートしました。また、山村地域の集落活動支援のためボランティアの派遣を行いました。

- ・ 集落活動応援隊派遣事業の運営（10 回、ボランティア 37 名参加）、応援隊研修会の開催（1 回）
- ・ 空き家物件見学交流会支援（1 回）
- ・ 移住希望者交流会支援（1 回）
- ・ 空き家片付け支援（1 回）

【豊田市】

- ・ 1 年を通して集落活動に参加をしながら山村の暮らしや生業を学ぶ人材育成事業「山里ひとなる塾」を開催しました。

受講者数：12 名

うち山村地域への移住者数：4 名

【豊田市】

- ・道の駅どんぐりの里いなぶにおいて、地元産品を活用した商品販売やイベント広場を活用した販わい創出を支援しました。



地元産品である繭を活用した「いなぶシルク
チョコレート」の試食会の様子

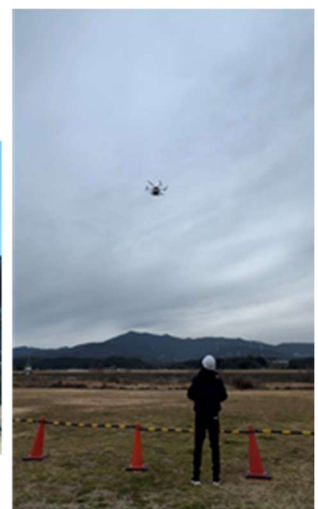
【豊田市】

○新城地域

新たに東名高速道路に計画されているスマートＩＣなど、交通ネットワークの拡充や道の駅を核とした広域観光ネットワークを活かした施策を展開。

(2023 年度の主な取組)

- ・「河川上空の航路でのドローンの多目的利用」をテーマとしたドローンの実証実験を実施しました。(2024 年 1 月 31 日)
- ・拠点間のドローン配送を行うとともに、ドローンに取り付けたカメラで映像を撮影し、河川巡視における代替可能性を検証しました。



【経済産業局産業振興課次世代産業室】

- ・豊橋新城スマート I C（仮称）について早期供用に向け共同事業者となる豊橋市、中日本高速道路株式会社と共に、詳細設計、土地評価業務、事業損失防止調査、用地取得及び物件補償等を行いました。

※豊橋新城スマート I C（仮称）について、2021 年 8 月 6 日に新規事業化が決定しています。



【新城市】

豊橋新城スマート I C（仮称）

- ・第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）において、自転車競技（ロードレース）の競技会場として予定されている新城市が、自転車のまちとして、市民にも自転車が普及していくように、地域プロジェクトマネージャーと地域おこし協力隊が連携し、市民が自転車に触れる機会を創出しました。

- ・自転車安全教室の実施（2023 年 11 月 21 日、22 日）

場所・参加者：東郷東小・53 人、東郷西小・91 人

【新城市】

- ・市外から関係人口を創出するための企画、運営を行いました。
 - ・JBCF 新城クリテリウムの開催支援（2023 年 9 月 9 日、10 日）
- 場所：新城総合公園、参加者約 300 人



※JBCF 新城クリテリウムは、自転車競技の認知及び発展を目的として、新城総合公園を舞台に、園内 1km 程度のコースを周回で走るクリテリウム形式で行うレースです。子供から大人までカテゴリー別に競技が行われます。

【新城市】

- ・地域資源を活用した観光コンテンツの開発を中心とした地域振興活動にも力を入れるため、地域おこし協力隊を1名増員し、アウトドアフィールドを活用したサイクルツーリズムと連携して地域活性化活動に取り組みました。

【新城市】

- ・東三河ドローン・リバー構想推進協議会の事務局として、実証実験への支援等を継続して実施しています。新たに設置した林業分科会の活動として、ドローンを活用した林道点検の実証実験を行い作業省力化や災害対応について、ドローンの効果的な活用方法を検証しました。



【新城市】

- ・コロナ禍で規模を縮小しながら開催していた軽トラ市を、コロナ前の通常の形に戻して開催しました。

開催回数：12回、来場者：年間 23,921人



【新城市】

- ・新城市、豊根村、蒲郡市、静岡県袋井市で開催されるマラソン大会を対象として、リニア中央新幹線の開業や三遠南信州自動車道の全線開通による交流の活発化を見据え、三遠南信地域と連携したマラソンシリーズを開催しました。

実績：172名が参加。

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）

○北設楽地域

事業承継や起業支援を行うとともに、リニア中央新幹線開業や三遠南信道路全線開通を見据えた他県や県内市町村との連携を含む広域的施策を展開。

(2023 年度の主な取組)

- ・特定地域づくり事業協同組合「したらワークス協同組合」では、派遣労働者を 3 名採用し、3 つの事業所へ派遣しました。

※特定地域づくり事業協同組合とは、地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するためマルチワーカー（季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事）に係る労働者派遣事業等を行う事業協同組合のことです。「したらワークス協同組合」は、2023 年 1 月 20 日に県内初の事業協同組合として認定されました。

【設楽町】

- ・空地・空き家バンク制度の運用及び若者新築住宅補助制度などにより、移住定住を促進させました。

空地・空き家バンクホームページ【設楽ぐらし】の物件掲載ページ閲覧者
：5,639 人

若者住宅新築補助金 件数・金額：6 件・12,000 千円

【設楽町】

- ・地域振興を目的とした起業を目指している 6 人の地域おこし協力隊を支援しました。

アウトドアスポーツの推進：1 名

商品開発（沢わさびの生産、設楽町産ワインの製造・ワイナリー設立）：2 名

農業（耕作放棄地を活用した自然栽培による野菜や果樹の生産）：1 名

したらワークス協同組合事務局人材：2 名

【設楽町】

- ・まちの賑わい創出、地域課題解決につながる起業に対し支援を行いました（元気な地域賑わい創出事業）。

起業応援プロジェクト事業実践者としての支援件数・補助金額：1 件・400 千円。

【東栄町】

- ・サイクリストやレンタサイクル利用者が地域資源を活用してめぐり経済循環を図る仕組みづくりとして、これまでの自転車に乗る人、自転車に乗らない人に向けた取り組みである「サイクリスト歓迎のまち構築事業」に加え、めぐる仕組みづくりをさらに加速させる「ポタリングを軸とした地域素材発掘・周遊促進事業」を行いました。



【東栄町】

- ・「空き家バンク制度」、「とうえい暮らしのカラフルパッケージ（定住等補助金）」と「移住ソムリエ」等の活用により移住者の確保につなげました。

暮らしのカラフルパッケージ実績

- ・空き家活用支援補助件数・金額：6件、1,984千円
- ・移住者通勤支援補助件数・金額：2件、274千円
- ・若者定住支援補助件数・金額：23件、526千円
- ・定住促進支援補助件数・金額：2件、600千円

【東栄町】

- ・集落定住の促進及び既存住宅の居住環境の質の向上を図るため、住宅の新築及びリフォームに対し補助を行いました。（補助率1/3、上限：新築100万円、リフォーム：25万円、若者（55歳以下）定住加算15万円）（新築リフォーム補助金）

補助金交付件数・補助金額：5件、1,469,000円

【豊根村】

- ・村内で養殖されているチョウザメから採取したキャビアを「豊根村ロイヤルキャビア」と名付け、ふるさと納税の返礼品として出品しました。

【豊根村】

- ・令和5年度で期限満了となった「第二次北設楽郡地域公共交通網形成計画」に続く新たな計画として「北設楽郡地域公共交通計画」を策定し、北設楽郡で安心して暮らし続けられるよう、計画に基づき事業を実施しました。

【設楽町、東栄町、豊根村】

- ・おでかけ北設事業として、北設3町村による連携した公共交通網システムを実施しました。町村間相互乗り入れバス、まちなか周回定期バス、予約バスの機能的な運行により、暮らし続けられる地域の維持を目指しました。

- ・「豊根設楽線」の車両更新
- ・予約バスの利便向上（運行時間、乗降可能場所の利便向上）
- ・路線バス利用促進事業の実施（設楽ダム見学ツアー）
- ・町中心部の周回バス「東栄まちなか線」の運行（東栄町）
- ・デジタルサイネージの導入（道の駅したら）

【設楽町、東栄町、豊根村】

- ・北設楽郡唯一の高等学校である田口高校では、北設楽郡内の仕事を学び、地域で働くことへの意識を高める「田口高校お仕事フェア 2023」（2023年10月16日）を開催しました。

【設楽町、東栄町、豊根村】

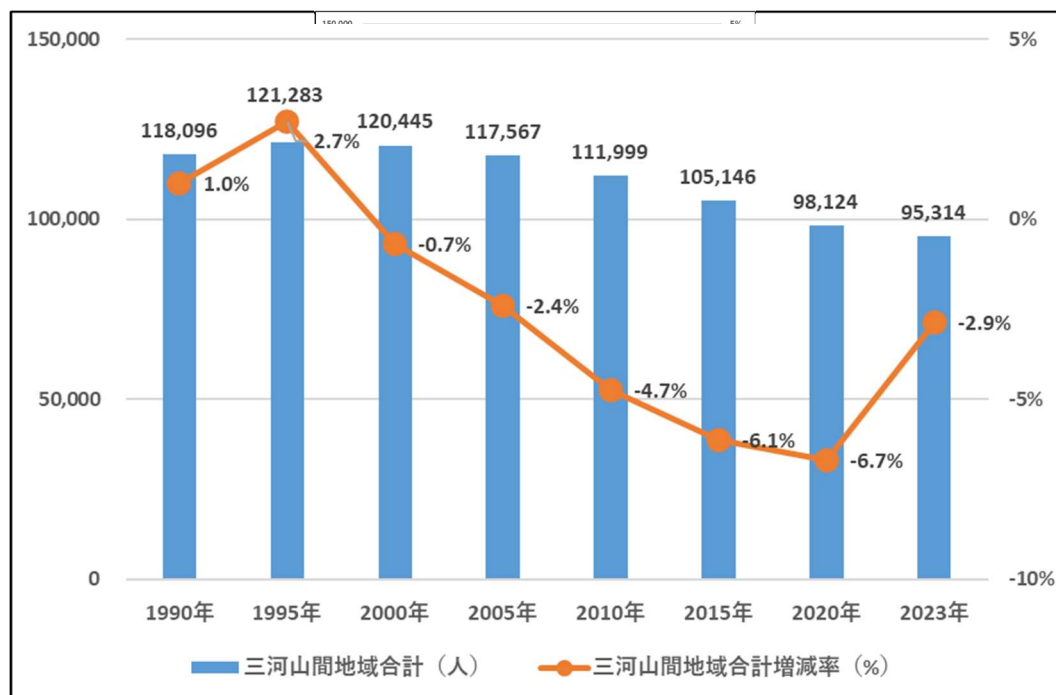
- ・新城市、豊根村、蒲郡市、静岡県袋井市で開催されるマラソン大会を対象として、リニア中央新幹線の開業や三遠南信州自動車道の全線開通による交流の活発化を見据え、三遠南信地域と連携したマラソンシリーズを開催しました。

実績：172名が参加。

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）

第3章 参考資料

●人口の推移（1990年～2023年）



区分	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2023年
岡崎市（一部）（人）	9410	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,464
豊田市（一部）（人）	35994	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	38,024
新城市（人）	54965	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	42,232
設楽町（人）	8724	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	4,014
東栄町（人）	5898	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,663
豊根村（人）	1933	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	917
三河山間地域合計（人）	116924	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	95,314
三河山間地域合計増減率（%）		1.0%	2.7%	-0.7%	-2.4%	-4.7%	-6.1%	-6.7%	-2.9%

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2022年については2020年度国勢調査を基に住民基本台帳の月間異動数を加減した推計値（2022年10月1日現在）

なお、岡崎市、豊田市は2023年4月1日現在の値を使用

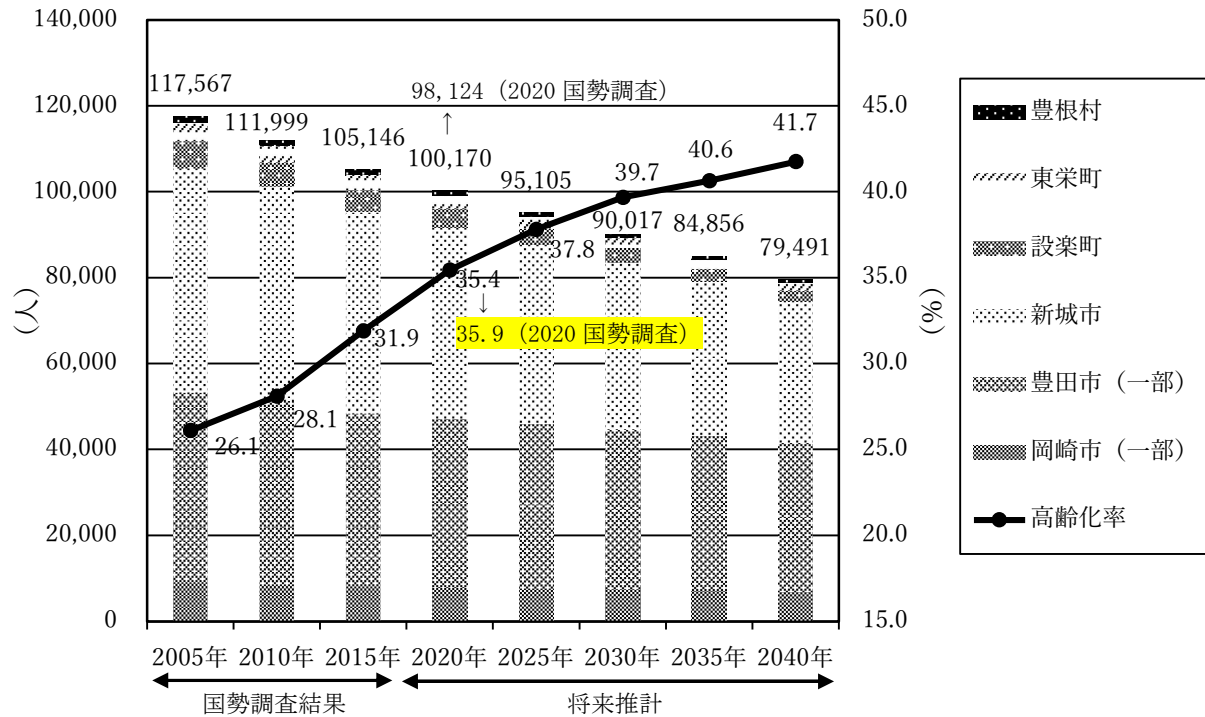
2023年の三河山間地域の人口（推計値）は、94,591人となっており、市町村別の人口は、岡崎市（額田地区）が7,324人、豊田市（藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区、稲武地区）が37,441人、新城市が42,232人、設楽町が4,014人、東栄町が2,663人、豊根村が917人である。

なお、三河山間地域の人口は1995年国勢調査以降、年々減少しており、2020年国勢調査では人口が100,000人を下回り、その後も減少傾向にある。

●三河山間地域の人口及び高齢化率の推移・推計

三河山間地域人口（縦棒）

高齢化率（折れ線）



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年推計）

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※岡崎市及び豊田市の2020年以降の推計値は、各種統計データをもとに年齢不詳者を除いた2015年値から推計した値

ビジョン策定時において三河山間地域の人口は2020年には100,170人、高齢化率35.4%という推計であったが、2020年国勢調査の結果によると、人口は98,124人、高齢化率は35.9%となっており、推計値を上回るペースで人口減少及び高齢化が進んでいる。

●年齢別人口

(1) 5歳階級別

単位：人

区分	岡崎市（一部）			豊田市（一部）			新城市			設楽町			東栄町			豊根村		
	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年
総数	8,109	7,531	7,464	40,249	37,842	38,024	47,133	44,355	42,232	5,074	4,437	4,014	3,446	2,942	2,663	1,135	1,017	917
0～4	245	182	148	1,338	1,138	1,058	1,561	1,201	975	104	78	69	84	75	51	16	26	11
5～9	312	273	248	1,573	1,511	1,445	1,843	1,692	1,465	129	118	81	94	89	71	34	19	31
10～14	384	341	289	1,902	1,618	1,602	2,132	1,839	1,789	165	132	138	101	92	88	59	35	25
15～19	375	323	330	2,185	1,665	1,629	2,197	2,027	1,934	147	116	107	90	67	81	21	25	31
20～24	320	280	280	1,918	1,651	1,762	1,645	1,637	1,573	95	79	50	58	52	39	8	14	12
25～29	294	239	243	1,838	1,438	1,514	1,904	1,498	1,324	128	116	80	85	59	40	26	20	18
30～34	373	244	243	1,755	1,613	1,616	2,336	1,803	1,518	176	102	93	107	78	72	33	26	19
35～39	414	385	345	1,977	1,849	1,896	2,606	2,328	1,945	181	164	113	129	113	92	37	35	33
40～44	546	428	420	2,530	2,042	2,097	2,845	2,602	2,437	227	176	180	151	126	108	51	40	37
45～49	418	542	515	2,699	2,523	2,346	2,596	2,837	2,857	220	224	180	146	126	145	44	53	38
50～54	452	414	502	3,169	2,637	2,628	2,850	2,537	2,833	289	230	232	183	142	117	58	43	51
55～59	596	436	411	3,114	3,084	2,936	3,253	2,845	2,594	360	275	246	236	181	166	88	61	53
60～64	735	589	553	3,173	3,013	3,130	3,823	3,205	2,983	447	346	327	302	232	199	110	87	77
65～69	753	723	617	2,992	3,097	2,940	4,188	3,717	3,302	498	427	357	358	279	243	107	114	79
70～74	541	709	777	2,022	2,844	3,189	3,127	3,965	3,999	415	473	475	259	330	338	87	108	110
75～79	446	484	553	1,958	1,865	2,031	2,706	2,852	3,222	450	376	372	311	225	231	95	75	85
80～84	419	382	375	1,882	1,681	1,667	2,516	2,305	2,345	452	394	355	323	257	226	120	79	65
85歳以上	479	549	615	2,157	2,371	2,538	2,834	3,193	3,137	586	593	559	429	399	356	141	157	142
年齢不詳	7	8	-	67	202	-	171	272	-	5	18	-	0	20	-	0	0	-

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2023 年については 2020 年度国勢調査を基に住民基本台帳の月間異動数を加減した推計値（2023 年 10 月 1 日現在）

なお、岡崎市、豊田市は 2023 年 4 月 1 日現在の値を使用

※2023 年の総数は年齢不詳を除いた値

(2) 3 区分別

単位：人（上段）、%（下段）

区分	岡崎市（一部）			豊田市（一部）			新城市			設楽町			東栄町			豊根村		
	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年	2015年	2020年	2023年
0～14歳	941	796	685	4,813	4,267	4,105	5,536	4,732	4,229	398	328	288	279	256	210	109	80	67
	11.6%	10.6%	9.2%	12.0%	11.3%	10.8%	11.8%	10.7%	10.0%	7.8%	7.4%	7.2%	8.1%	8.8%	7.9%	9.6%	7.9%	7.3%
15～64歳	4,523	3,880	3,842	24,358	21,515	21,554	26,055	23,319	21,998	2,270	1,828	1,608	1,487	1,176	1,059	476	404	369
	55.8%	51.6%	51.5%	60.6%	57.2%	56.7%	55.5%	52.9%	52.1%	44.8%	41.4%	40.1%	43.1%	40.2%	39.8%	41.9%	39.7%	40.2%
65歳以上	2,638	2,847	2,937	11,011	11,858	12,365	15,371	16,032	16,005	2,401	2,263	2,118	1,680	1,490	1,394	550	533	481
	32.6%	37.8%	39.3%	27.4%	31.5%	32.5%	32.7%	36.4%	37.9%	47.4%	51.2%	52.8%	48.8%	51.0%	52.3%	48.5%	52.4%	52.5%
総数	8,102	7,523	7,464	40,182	37,640	38,024	46,962	44,083	42,232	5,069	4,419	4,014	3,446	2,922	2,663	1,135	1,017	917

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2023 年については 2020 年度国勢調査を基に住民基本台帳の月間異動数を加減した推計値（2023 年 10 月 1 日現在）

なお、岡崎市・豊田市は、2023 年 4 月 1 日現在の値を使用

三河山間地域市町村の人口に占める 65 歳以上の割合（高齢化率）は全域で増加傾向にあり、2023 年は岡崎市（額田地区）40.4%、豊田市（藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区、稲武地区）33.4%、新城市 37.9%、設楽町 52.8%、東栄町 52.3%、豊根村 52.5%と、特に北設楽郡 3 町村で 50%を超える高い割合となっている。

●人口及び世帯数の推移

単位：人

区分		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2023年
岡崎市 (一部)	人口（人）	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,464
	増減率（％）	-	0.0	△ 1.1	△ 3.3	△ 5.4	△ 5.9	△ 7.1	△ 0.9
	世帯数（世帯）	2,278	2,378	2,471	2,543	2,644	2,599	2,581	3,075
	増減率（％）	-	4.4	3.9	2.9	4.0	△ 1.7	△ 0.7	19.1
	世帯平均（人）	4.2	4.0	3.8	3.6	3.3	3.1	2.9	2.4
豊田市 (一部)	人口（人）	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	38,024
	増減率（％）	-	10.9	3.3	△ 0.0	△ 3.3	△ 5.6	△ 6.0	0.5
	世帯数（世帯）	10,101	11,578	12,515	13,066	13,455	13,597	13,656	14,407
	増減率（％）	-	14.6	8.1	4.4	3.0	1.1	0.4	5.5
	世帯平均（人）	3.8	3.7	3.5	3.4	3.2	3.0	2.8	2.6
新城市	人口（人）	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	42,232
	増減率（％）	-	0.0	△ 1.8	△ 2.7	△ 4.4	△ 5.5	△ 5.9	△ 4.8
	世帯数（世帯）	14,311	15,180	15,703	16,156	16,430	16,454	16,633	16,700
	増減率（％）	-	6.1	3.4	2.9	1.7	0.1	1.1	0.4
	世帯平均（人）	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.5
設楽町	人口（人）	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	4,014
	増減率（％）	-	△ 7.6	△ 8.4	△ 9.4	△ 8.5	△ 12.0	△ 12.6	△ 9.5
	世帯数（世帯）	2,587	2,545	2,422	2,269	2,194	2,015	1,845	1,708
	増減率（％）	-	△ 1.6	△ 4.8	△ 6.3	△ 3.3	△ 8.2	△ 8.4	△ 7.4
	世帯平均（人）	3.2	3.0	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.4
東栄町	人口（人）	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,663
	増減率（％）	-	△ 5.8	△ 7.9	△ 7.8	△ 13.6	△ 8.3	△ 14.6	△ 9.5
	世帯数（世帯）	1,741	1,728	1,690	1,633	1,497	1,436	1,294	1,212
	増減率（％）	-	△ 0.7	△ 2.2	△ 3.4	△ 8.3	△ 4.1	△ 9.9	△ 6.3
	世帯平均（人）	3.1	3.0	2.8	2.7	2.5	2.4	2.3	2.2
豊根村	人口（人）	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	917
	増減率（％）	-	△ 5.0	△ 5.4	△ 6.9	△ 11.9	△ 15.0	△ 10.4	△ 9.8
	世帯数（世帯）	622	654	619	511	555	490	437	410
	増減率（％）	-	5.1	△ 5.4	△ 17.4	8.6	△ 11.7	△ 10.8	△ 6.2
	世帯平均（人）	2.9	2.6	2.6	3.0	2.4	2.3	2.3	2.2
三河 山間地域	人口（人）	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	95,314
	増減率（％）	-	2.7	△ 0.7	△ 2.4	△ 4.7	△ 6.1	△ 6.7	△ 2.9
	世帯数（世帯）	31,640	34,063	35,420	36,178	36,775	36,591	36,446	37,512
	増減率（％）	-	7.7	4.0	2.1	1.7	△ 0.5	△ 0.4	2.9
	世帯平均（人）	3.7	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.5

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2022 年については 2020 年度国勢調査を基に住民基本台帳の月間異動数を加減した推計値（2022 年 10 月 1 日現在）

人口については、1995 年国勢調査以降減少傾向にあり、人口減少割合も増加している。世帯数の減少割合は、人口減少割合よりも緩やかなペースであるが、減少傾向となっており、2020 年国勢調査では初めて、全ての市町村で 1 世帯あたり 3 人を下回る結果となった。

●人口の異動状況

単位：人

区 分		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2023年
岡崎市	自然増減 A (B - C)	618	400	37	△ 87	△ 244	△ 849
	出生数 B	3,604	3,518	3,230	3,026	2,937	2,674
	死亡数 C	2,986	3,118	3,193	3,113	3,181	3,523
	社会増減 D (E - F + G)	1,220	1,018	323	△ 1,385	△ 534	△ 358
	転入数 E	16,003	16,707	16,930	13,846	14,012	15,226
	転出数 F	14,814	15,568	16,367	15,196	14,514	15,540
	その他増減 G	31	△ 121	△ 240	△ 35	△ 32	△ 44
	増減計 A + D	1,838	1,418	360	△ 1,472	△ 778	△ 1,207
豊田市	自然増減 A (B - C)	771	431	244	143	△ 375	△ 1,160
	出生数 B	3,788	3,708	3,390	3,342	3,078	2,728
	死亡数 C	3,017	3,277	3,146	3,199	3,453	3,888
	社会増減 D (E - F + G)	231	△ 321	70	△ 3,201	△ 2,687	31
	転入数 E	17,739	18,530	19,426	15,397	14,820	18,027
	転出数 F	17,634	18,703	19,167	18,579	17,413	17,894
	その他増減 G	126	△ 148	△ 189	△ 19	△ 94	△ 102
	増減計 A + D	1,002	110	314	△ 3,058	△ 3,062	△ 1,129
新城市	自然増減 A (B - C)	△ 404	△ 440	△ 453	△ 429	△ 503	△ 534
	出生数 B	232	230	225	198	187	143
	死亡数 C	636	670	678	627	690	677
	社会増減 D (E - F + G)	△ 206	△ 212	△ 232	△ 307	△ 340	△ 114
	転入数 E	1,347	1,416	1,427	1,216	1,089	1,289
	転出数 F	1,534	1,606	1,644	1,533	1,423	1,406
	その他増減 G	△ 19	△ 22	△ 15	10	△ 6	3
	増減計 A + D	△ 610	△ 652	△ 685	△ 736	△ 843	△ 648
設楽町	自然増減 A (B - C)	△ 91	△ 88	△ 81	△ 106	△ 78	△ 101
	出生数 B	18	19	11	12	14	16
	死亡数 C	109	107	92	118	92	117
	社会増減 D (E - F + G)	△ 59	△ 27	△ 36	△ 3	△ 26	△ 52
	転入数 E	115	117	110	111	97	99
	転出数 F	178	140	146	120	128	150
	その他増減 G	4	△ 4	0	6	5	△ 1
	増減計 A + D	△ 150	△ 115	△ 117	△ 109	△ 104	△ 153
東栄町	自然増減 A (B - C)	△ 83	△ 64	△ 68	△ 73	△ 64	△ 71
	出生数 B	12	11	18	13	11	6
	死亡数 C	95	75	86	86	75	77
	社会増減 D (E - F + G)	△ 32	△ 30	4	△ 20	△ 36	△ 19
	転入数 E	67	77	90	61	72	56
	転出数 F	96	102	78	79	111	75
	その他増減 G	△ 3	△ 5	△ 8	△ 2	3	0
	増減計 A + D	△ 86	△ 69	△ 76	△ 75	△ 61	△ 90
豊根村	自然増減 A (B - C)	△ 21	△ 17	△ 22	△ 24	△ 26	△ 35
	出生数 B	6	5	1	4	0	1
	死亡数 C	27	22	23	28	26	36
	社会増減 D (E - F + G)	6	△ 21	△ 10	△ 7	△ 9	9
	転入数 E	24	38	25	31	31	32
	転出数 F	20	59	42	39	41	21
	その他増減 G	2	0	7	1	1	△ 2
	増減計 A + D	△ 15	△ 38	△ 32	△ 31	△ 35	△ 26

出典：愛知県「あいちの人口（年報）」

※岡崎市及び豊田市は旧町村部ごとのデータが公表されていないため、全域のデータを使用している。

※その他増減は職権記載や職権消除等

人口の異動状況としては、概ね自然減・社会減の状況にある。全域のデータとなっている岡崎市・豊田市を除き、大きな増減の動きは見られないが、依然として人口減少の傾向が続いている。

●産業別就業者数

(1) 産業別就業者数

単位：人

産業大分類	岡崎市（一部）		豊田市（一部）		新城市		設楽町		東栄町		豊根村		三河山間地域合計	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
総数	4,167	3,922	21,133	20,257	24,380	23,395	2,476	2,156	1,568	1,344	547	492	54,271	51,566
第一次産業	335	298	1,284	1,085	2,066	1,869	508	399	139	89	73	63	4,405	3,803
農業	304	275	1,144	964	1,933	1,745	466	338	100	55	44	36	3,991	3,413
林業	31	23	133	113	125	112	30	50	36	33	26	22	381	353
漁業	0	0	7	8	8	12	12	11	3	1	3	5	33	37
第二次産業	1,525	1,321	8,747	7,846	9,096	8,514	532	450	441	344	144	99	20,485	18,574
鉱業・採石業・砂利採取業	6	3	21	14	34	28	17	8	20	10	0	1	98	64
建設業	362	307	1,494	1,374	1,938	1,716	229	228	206	195	90	67	4,319	3,887
製造業	1,157	1,011	7,232	6,458	7,124	6,770	286	214	215	139	54	31	16,068	14,623
第三次産業	2,240	2,097	10,604	10,508	12,831	12,370	1,425	1,282	980	885	329	327	28,409	27,469
電気・ガス・熱供給・水道業	19	21	57	55	78	64	7	7	3	3	2	1	166	151
情報通信業	31	30	119	131	124	102	5	1	2	4	0	0	281	268
運輸業・郵便業	226	211	826	821	828	785	78	72	55	44	25	20	2,038	1,953
卸売業、小売業	452	416	2,113	2,022	2,852	2,553	244	207	198	154	32	33	5,891	5,385
金融業、保険業	61	51	193	165	279	260	11	6	13	2	1	0	558	484
不動産業・物品賃貸業	35	32	114	139	196	187	5	7	6	9	0	0	356	374
学術研究、専門・技術サービス業	88	88	499	504	526	526	56	52	21	23	7	4	1,197	1,197
宿泊業・飲食サービス業	202	188	1,099	1,059	1,053	991	131	112	68	79	41	36	2,594	2,465
生活関連サービス業・娯楽業	144	135	900	876	908	861	91	76	97	71	18	27	2,158	2,046
教育・学習支援業	138	130	814	785	1,019	960	120	98	77	60	34	32	2,202	2,065
医療福祉	410	411	1,974	2,093	2,583	2,714	285	282	237	218	64	73	5,553	5,791
複合サービス業	38	32	259	259	391	384	58	50	39	46	16	18	801	789
サービス業（他に分類されないもの）	267	250	1,160	1,219	1,164	1,192	142	139	82	90	38	26	2,853	2,916
公務（他に分類されるものを除く）	129	102	477	380	830	791	192	173	82	82	51	57	1,761	1,585
分類不能	67	206	498	818	387	642	11	25	8	26	1	3	972	1,720

出典：総務省「国勢調査」

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

(2) 産業別就業者数の割合・就業者数増減率（2015年～2020年）

単位：％

産業大分類	岡崎市（一部）		豊田市（一部）		新城市		設楽町		東栄町		豊根村		三河山間地域合計	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
第一次産業の占める割合	8	7.6	6.1	5.4	8.5	8	20.5	18.5	8.9	6.6	13.3	12.8	8.1	7.4
労働者数増減率	△ 11.0		△ 15.5		△ 9.5		△ 21.5		△ 36.0		△ 13.7		△ 13.7	
第二次産業の占める割合	36.6	33.7	41.4	38.3	37.3	36.4	21.5	20.9	28.1	25.6	26.3	20.1	37.7	36
労働者数増減率	△ 13.4		△ 10.3		△ 6.4		△ 15.4		△ 22.0		△ 31.3		△ 9.3	
第三次産業の占める割合	53.8	53.5	50.2	51.9	52.6	52.9	57.6	59.5	62.5	65.8	60.1	66.5	52.3	53.3
労働者数増減率	△ 6.4		△ 0.9		△ 3.6		△ 10.0		△ 9.7		△ 0.6		△ 3.3	
分類不能	1.6	5.3	2.4	4	1.6	2.7	0.4	1.2	0.5	1.9	0.2	0.6	1.8	3.3
増減率	207.5		64.3		65.9		127.3		225		200		77	

出典：総務省「国勢調査」

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

三河山間地域の産業別就業者数は、割合の大きい順に、第三次産業、第二次産業、第一次産業となっている。就業者数全体が減少する中で、第一次産業・第二次産業就業者数の割合は6市町村全てで減少しており、特に第一次産業では就業者数の減少割合が大きく、担い手不足が深刻な状況にある。

●三河山間地域における学校の状況

	市町村名		岡崎市	豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
			額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計					
2018年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48
		学級数	29	51	21	49	19	15	7	162	125	29	8	5	358
		児童数（人）	354	1,119	132	354	170	77	65	1,917	2,193	153	116	35	4,768
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18
		学級数	9	24	5	9	6	4	4	52	54	8	4	5	132
		生徒数（人）	212	598	78	159	106	48	46	1,035	1,171	84	52	28	2,582
	高等学校	学校数		1		1				2	4	1			7
		学級数		9		9				18	28	6			52
		生徒数（人）		278		243				521	1,066	120			1,707
市町村名		岡崎市	豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計	
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計						
2019年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48
		学級数	28	52	21	48	18	14	6	159	128	28	8	6	357
		児童数（人）	343	1,087	142	354	168	83	66	1,900	2,170	164	115	31	4,723
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18
		学級数	8	24	5	8	5	4	4	50	53	8	4	5	128
		生徒数（人）	198	596	64	173	92	38	41	1,004	1,137	75	54	31	2,499
	高等学校	学校数		1		1				2	5	1			8
		学級数		9		9				18	22	6			46
		生徒数（人）		242		240				482	1,007	94			1,583
市町村名		岡崎市	豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計	
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計						
2020年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48
		学級数	28	52	21	53	19	11	6	162	130	27	8	4	359
		児童数（人）	333	1,069	140	364	161	86	65	1,885	2,125	165	113	28	4,649
	中学校	学校数	1	1	2	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18
		学級数	8	23	4	8	5	5	4	49	51	10	5	4	127
		生徒数（人）	196	576	51	168	92	44	33	964	1,143	78	62	23	2,466
	高等学校	学校数		1		1				2	5	1			8
		学級数		7		7				14	22	6			42
		生徒数（人）		196		228				424	930	74			1,428
市町村名		岡崎市	豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計	
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計						
2021年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48
		学級数	29	54	20	53	20	14	7	168	134	26	8	6	371
		児童数（人）	331	1,032	130	345	169	122	69	1,867	2,065	151	107	27	4,548
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18
		学級数	8	23	4	8	6	5	4	50	51	9	5	3	126
		生徒数（人）	175	571	55	192	91	40	30	979	1,119	72	57	20	2,422
	高等学校	学校数		1		1				2	3	1			6
		学級数		8		9				17	21	6			44
		生徒数（人）		172		196				368	887	69			1,324
市町村名		岡崎市	豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計	
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計						
2022年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48
		学級数	29	56	20	52	20	12	7	167	132	25	8	6	367
		児童数（人）	318	1,041	134	338	171	93	64	1,841	2,025	134	105	24	4,447
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18
		学級数	9	22	4	8	6	4	3	47	52	9	4	4	125
		生徒数（人）	173	538	69	176	82	39	37	941	1,111	80	53	22	2,380
	高等学校	学校数		1		1				2	3	1			6
		学級数		7		7				14	21	6			41
		生徒数（人）		133		168				301	851	70			1,222
市町村名		岡崎市	豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計	
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計						
2023年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48
		学級数	31	55	20	55	21	12	7	170	128	26	8	6	369
		児童数（人）	309	992	130	321	173	87	62	1,765	1,951	124	105	29	4,283
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18
		学級数	9	23	5	8	5	3	3	47	54	11	4	4	129
		生徒数（人）	179	571	74	184	73	33	35	970	1,095	85	50	18	2,397
	高等学校	学校数		1		1				2	3	1			6
		学級数		6		6				12	21	6			39
		生徒数（人）		115		135				250	852	76			1,178

出典：愛知県「学校一覧」

※私立の高等学校の学級数は公表されていないため、公立の高等学校の学級数のみ記載

三河山間地域の学校の児童・生徒数は、年々減少傾向となっており、それに伴い学校の統廃合や閉校が行われている。特に高等学校生徒数は毎年100～250人ずつ減少しており、定員割れが続く高等学校もみられる。今後もこの減少傾向が続くと学校の活力低下に繋がり、さらに学校の統廃合や閉校が進むなど深刻な状況にある。

●財政力指数

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
岡崎市	1.02	1.03	1.04	1.02	1.01	1.00
豊田市	1.49	1.47	1.39	1.42	1.31	1.34
新城市	0.58	0.57	0.57	0.55	0.53	0.53
設楽町	0.23	0.24	0.24	0.24	0.23	0.23
東栄町	0.19	0.19	0.19	0.18	0.18	0.18
豊根村	0.25	0.26	0.28	0.27	0.27	0.26

出典：愛知県「愛知県内市町村の財政状況資料集」

※財政力指数は地方公共団体の財政力を示すもので、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値

三河山間地域の財政力指数について、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が定める過疎地域（全部過疎）の財政力要件（2017～2019年度平均が0.51以下）に、設楽町・東栄町・豊根村が該当している。

●三河山間地域における地域おこし協力隊人数

単位：人

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
岡崎市	-	-	-	-	-	1	1	3
豊田市	1	-	-	-	-	-	-	-
新城市	5	2	3	1	1	1	1	2
設楽町	1	1	4	5	6	7	2	6
東栄町	4	4	3	1	1	1	3	5
豊根村	3	5	3	4	2	3	4	5
隊員数合計	14	12	13	11	10	13	11	21
受入自治体数	5	4	4	4	4	5	5	5

出典：総務省「令和4年度 地域おこし協力隊の隊員数等について」

●愛知県における任期終了者数及び定住率

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
任期終了者数（人）	31	34	41	44
定住者数（人）	20	21	25	26
定住率（%）	64.5	61.8	61.0	59.1

出典：総務省「令和4年度 地域おこし協力隊の隊員数等について」

三河山間地域における地域おこし協力隊の受入自治体数は、2022年度は5団体となっている。受入人数は11人である。

また、総務省の調査によると、2022年度（2023年3月末時点）での愛知県の地域おこし協力隊の任期終了者数は41人、そのうち定住者は25人であり、定住率は61.0%となっている。

※定住とは、活動地と同一市町村内に定住した者と、活動地の近隣市町村内に定住した者の計

あいち山村振興ビジョン 2025 年次レポート（2023 年度版）

2024 年 9 月

愛 知 県

山村振興推進本部（総務局総務部市町村課地域振興室）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-954-6097（ダイヤルイン）

ファックス 052-954-6981

電子メール chiiki-shinko@pref.aichi.lg.jp

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/>